

目 次

1. お皿のひな形を開く	2
2. お皿のひな形をリムーバブルディスクに保存する	5
3. 画像を挿入する その1	10
(1) 画像を挿入する	10
(2) 文字列の折り返しを設定する	14
(3) 画像の大きさを変更する	16
(4) 画像を移動する	18
(5) 画像にスタイルを適用する	20
4. ガイドを消す	22
5. 上書き保存する	23
6. PDF 形式で保存する	24
7. 画像を挿入する その2	29
(1) 画像を図形に合わせてトリミングする	31
(2) 画像に枠線を付ける	33
(3) 枠線の太さを変更する	35
8. ワードアートの挿入	37
(1) ワードアートの挿入	37
(2) ワードアートのフォントの変更	40
(3) ワードアートのフォントサイズの変更	42
(4) ワードアートを移動する	44
(5) ワードアートを変形する	46

予非天下見本

オリジナルのお皿を作ってみよう！



ウメさん「先生。陶芸をやっているお友達が自分で作ったお皿に絵を描いてプレゼントしてくれたの。」

くじら先生「素敵なプレゼントをいただいたんですね。」

ウメさん「私は、パソコンでなら『おえかき』ができるのになぁ～」

くじら先生「じゃあ、パソコンで描いた絵をお皿に印刷というのはどうですか？
ひな形を用意していますので、簡単にできますよ。」

ウメさん「今までに描いた絵が、たくさんあるので作ってみたい！」

くじら先生「パソコンで描いた絵だけではなく、写真や文字も入ります。
いろいろ作ってお友達にもプレゼントしてみてくださいね。」

【完成例】



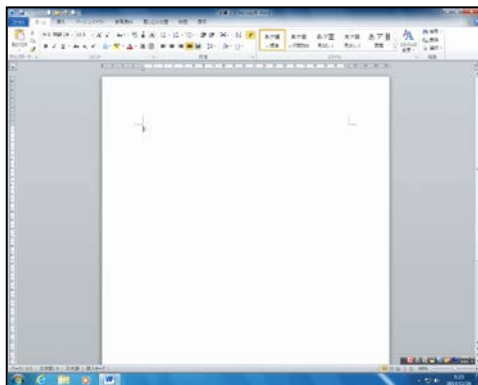
このお皿はプリント用の塗料が塗ってありますので、『観賞用』に使用してください。

1. お皿のひな形を開く

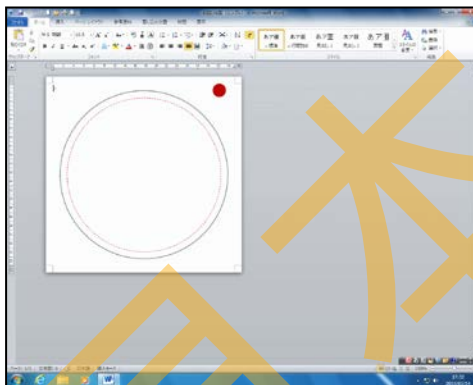
お皿を作成するために、まずはお皿のひな形をドキュメントから開きましょう。
このテキストでは、画像のみを挿入したシンプルなお皿と、画像と文字を挿入したお皿の2種類を作成していきます。

◆ドキュメントからお皿のひな形を開く方法をマスターしましょう。

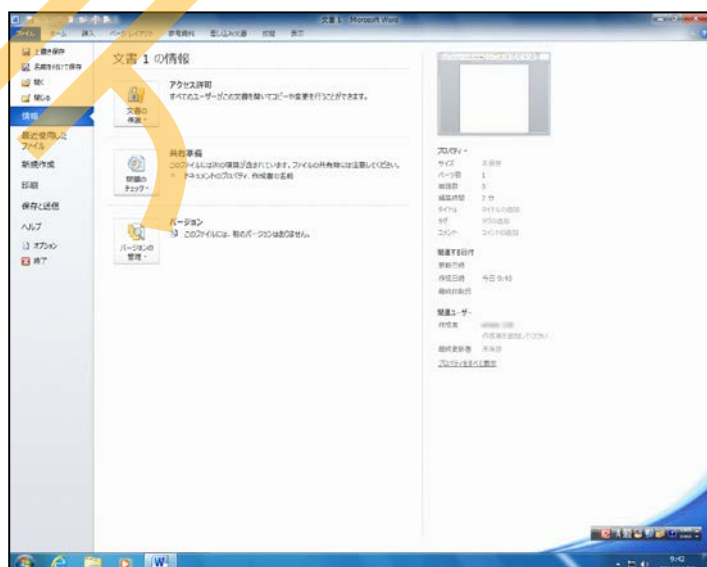
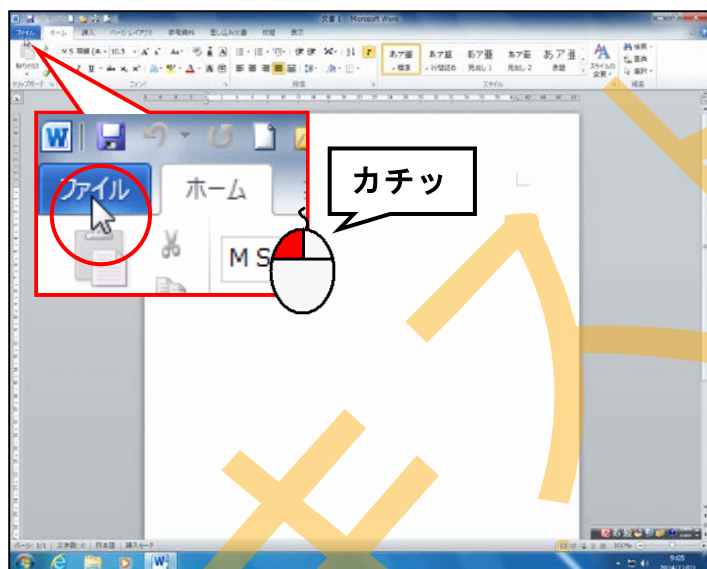
操作前



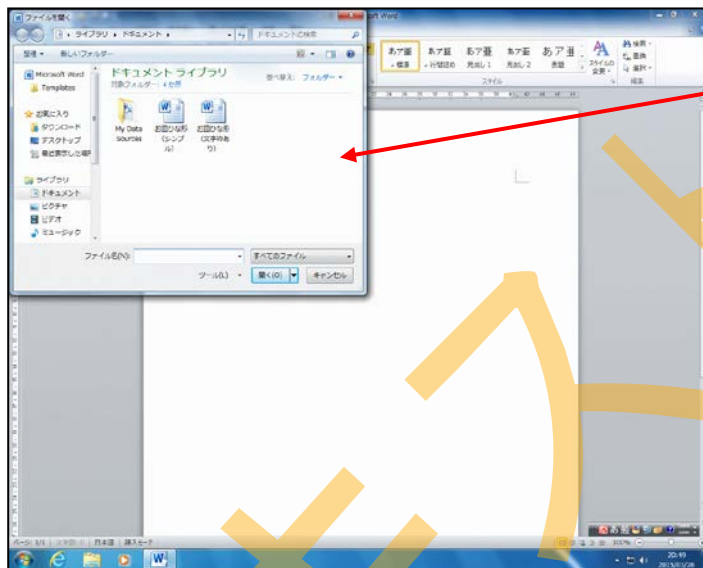
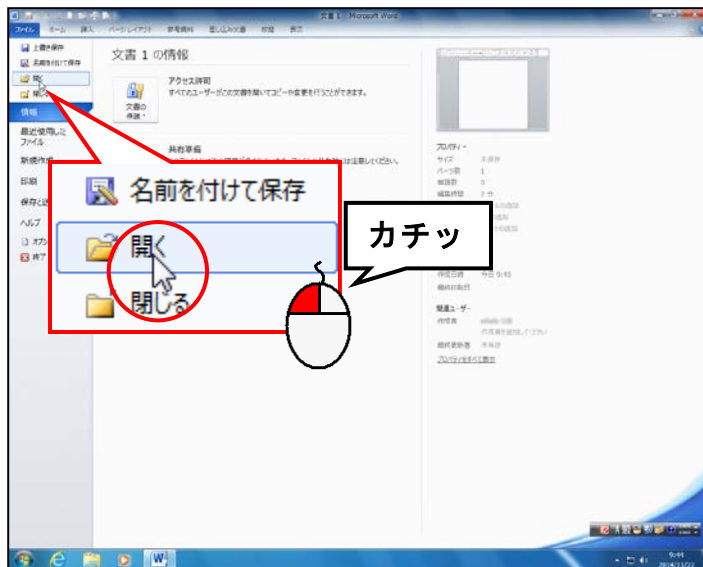
操作後



ワード画面を開き、[ファイル] タブにポイントし、クリックします。



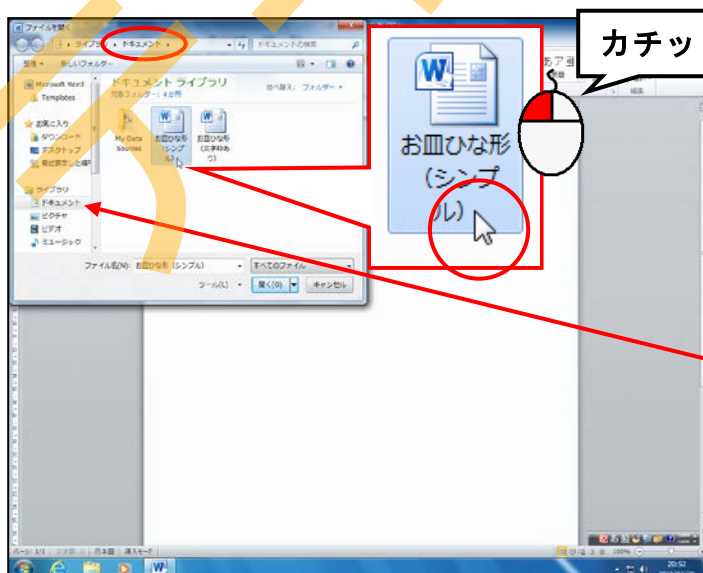
「開く」にポイントし、クリックします。



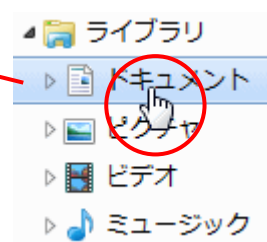
● 「開く」をクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。

● お使いのパソコンによって、「ファイルを開く」ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

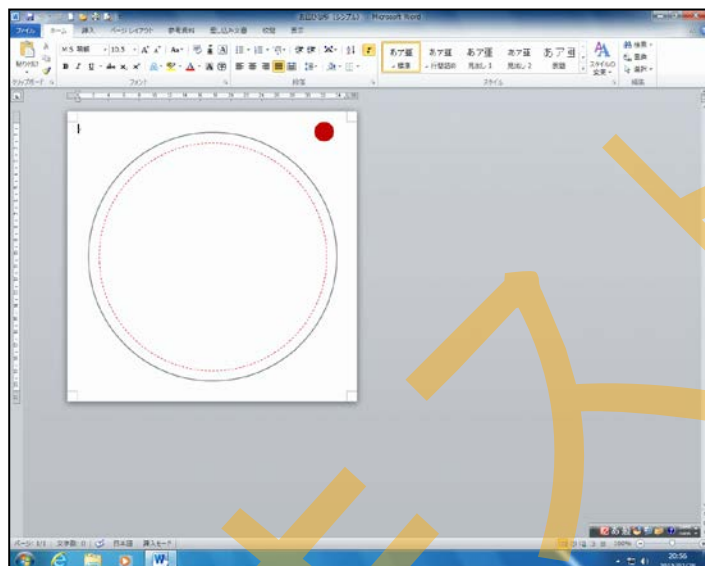
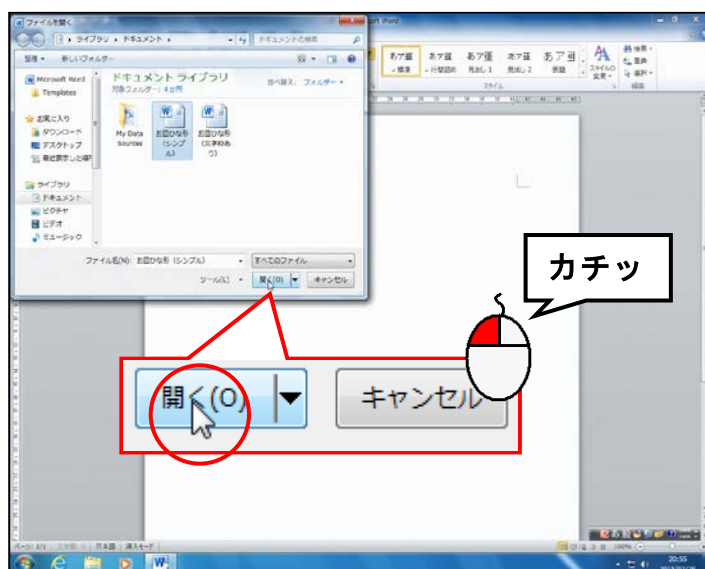
「ファイルの場所」に「ドキュメント」が表示されていることを確認して、「お皿ひな形 (シンプル)」にポイントし、クリックします。



● 「ドキュメント」が表示されていない場合は、画面の左側の「ドキュメント」をクリックしましょう。



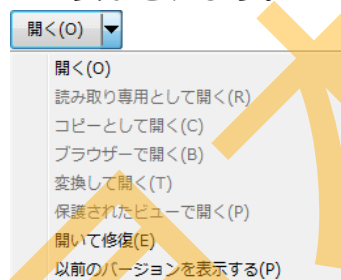
【開く(O)】ボタンにポイントし、クリックします。



●この操作が選択した文書を「開きなさい」とパソコンに命令を与える操作になります。

余裕があれば読んでね

●【開く(O)】ボタンの右にある▼をクリックすると、下のようなメニューが表示されます。



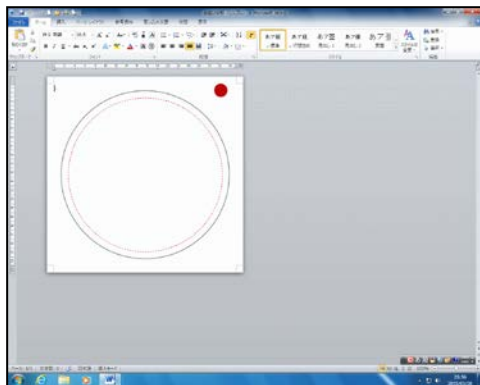
●【開く(O)】ボタンをクリックすると、左のようにお皿のひな形が画面上に表示されます。

2. お皿のひな形をリムーバブルディスクに保存する

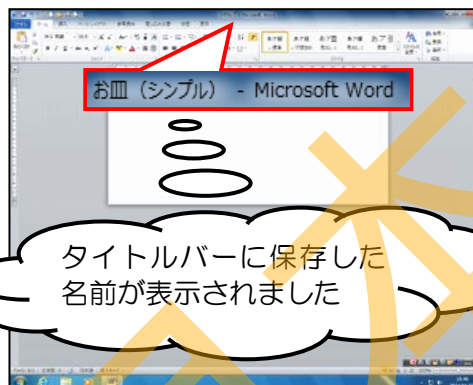
画面上に表示されたお皿のひな形をリムーバブルディスクに保存しましょう。

◆お皿のひな形をリムーバブルディスクに保存する方法をマスターしましょう。

操作前

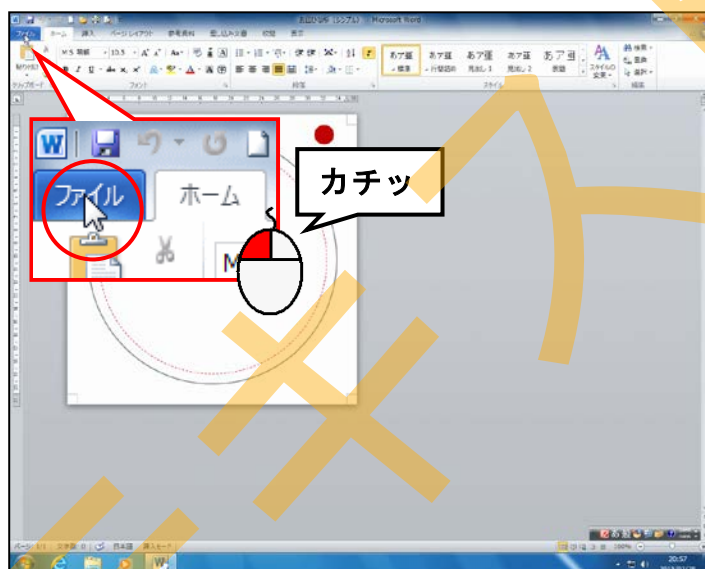


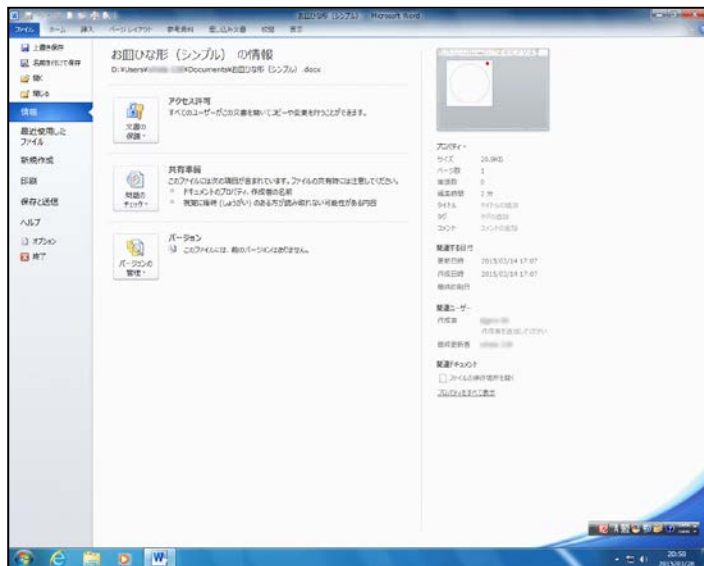
操作後



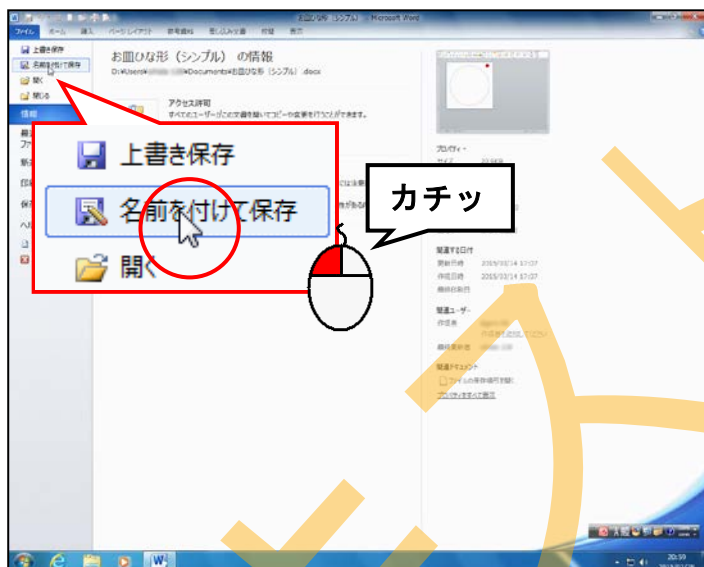
※操作に入る前に、リムーバブルディスクをパソコンに差し込んでください。

【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



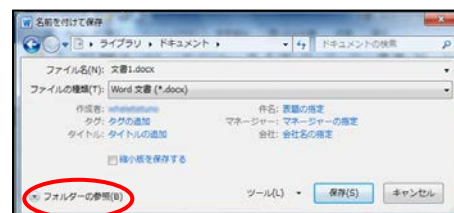
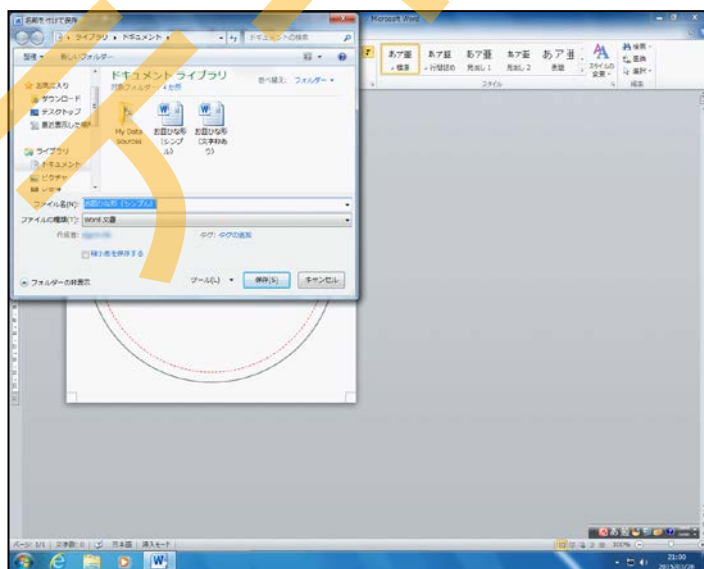


「名前を付けて保存」にポイントし、クリックします。

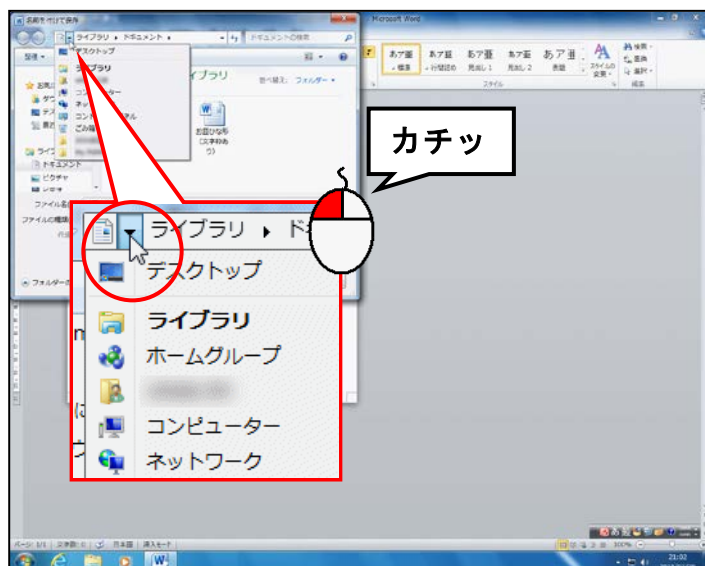


●お使いのパソコンによって、[名前を付けて保存] ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

●[名前を付けて保存] ダイアログボックスが下のように細長い場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスの「フォルダーの参照(B)」をクリックすると、テキストのようにダイアログボックスが縦に広がります。

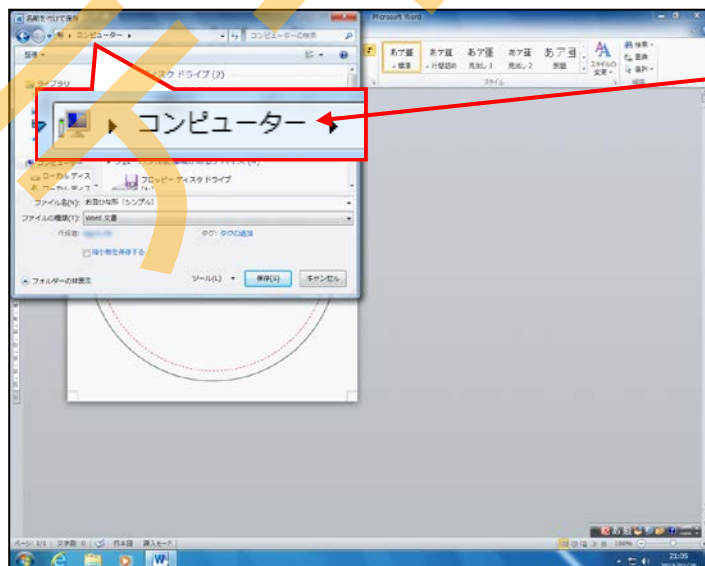
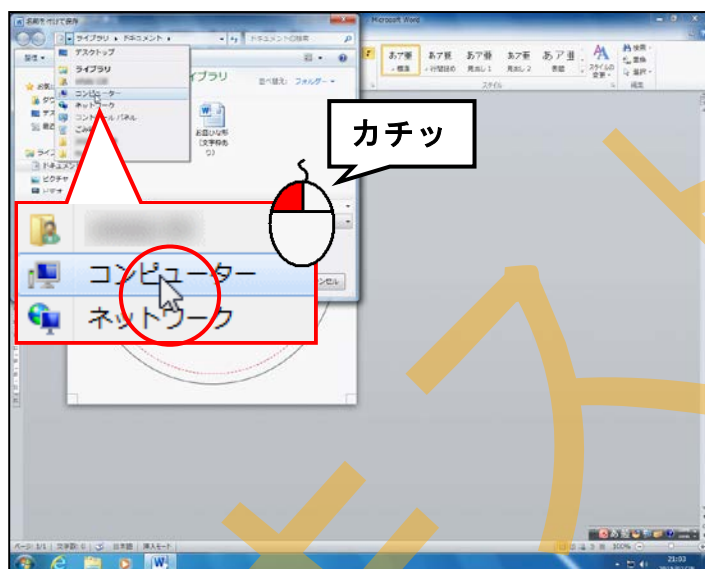


「ライブラリ」の左にある ► にポイントし、クリックします。



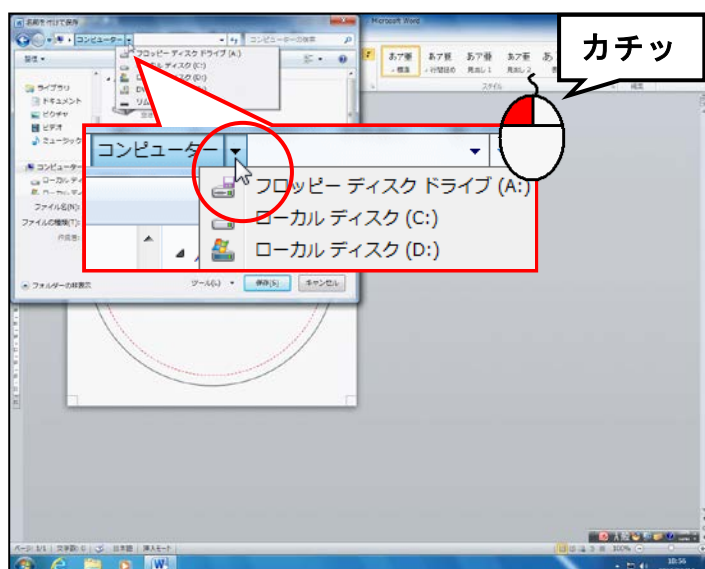
- 「ライブラリ」の左にある ► は、クリックした時点で、左のように ▼ に変わります。

表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。



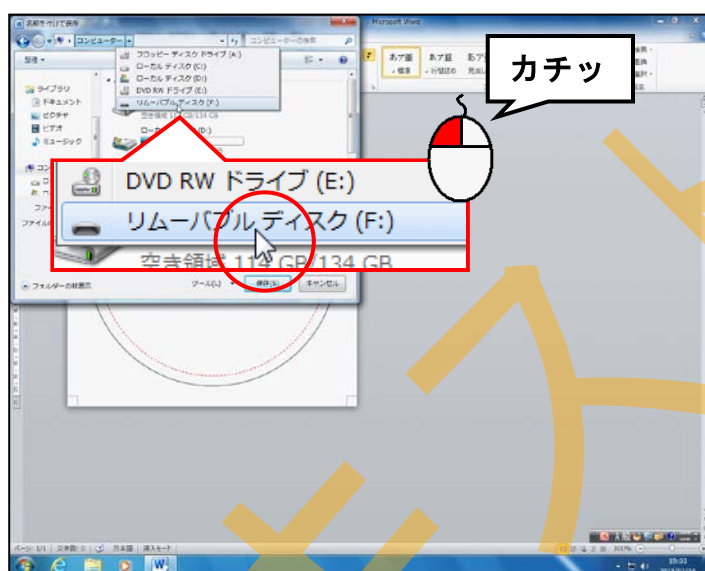
- 「コンピューター」をクリックすると、[保存先] ボックスに「コンピューター」が表示されます。

「コンピューター」の右にある ► にポイントし、クリックします。



- 「コンピューター」の右にある ► は、クリックした時点で、左のように ▼ に変わります。

表示された一覧から [リムーバブルディスク (F:)] にポイントし、クリックします。

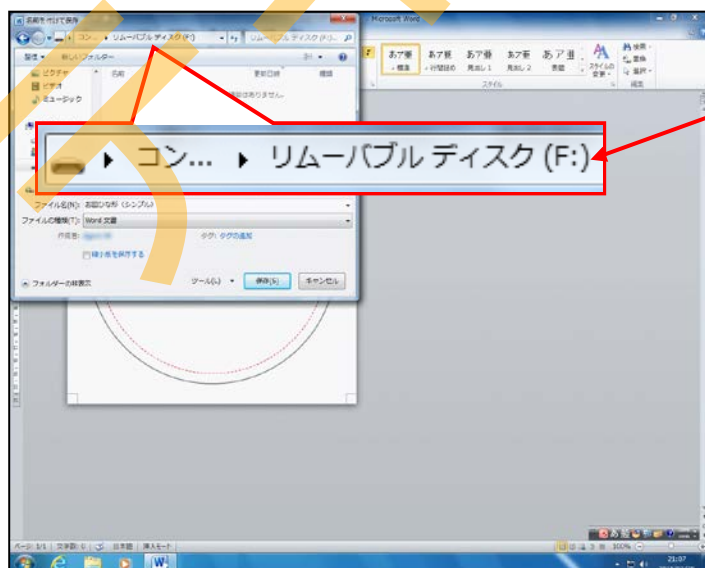


注意!

- お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが [(F:)] とは限りません。



- 「リムーバブルディスク」というのは、取り外して持ち運びできる記憶装置の総称です。
この場合は、「USB メモリー」がそれにあたります。

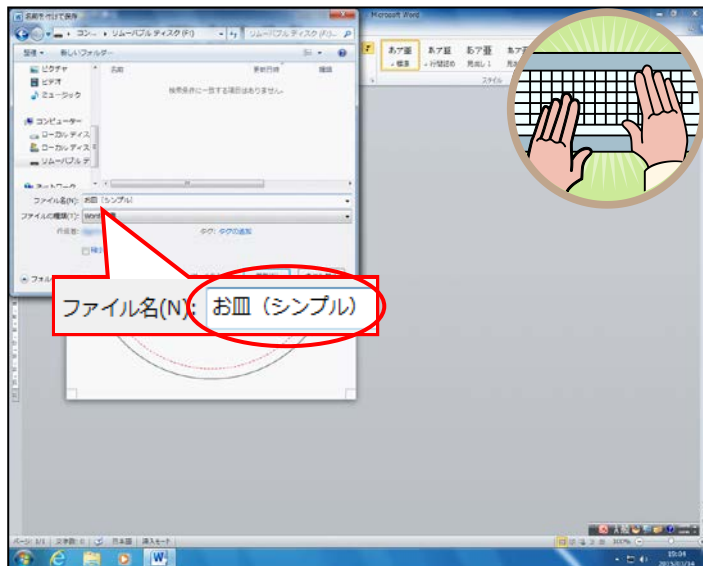


- [リムーバブルディスク (F:)] をクリックすると、[保存先] ボックスに [リムーバブルディスク (F:)] が表示されます。

必ず確認を!!

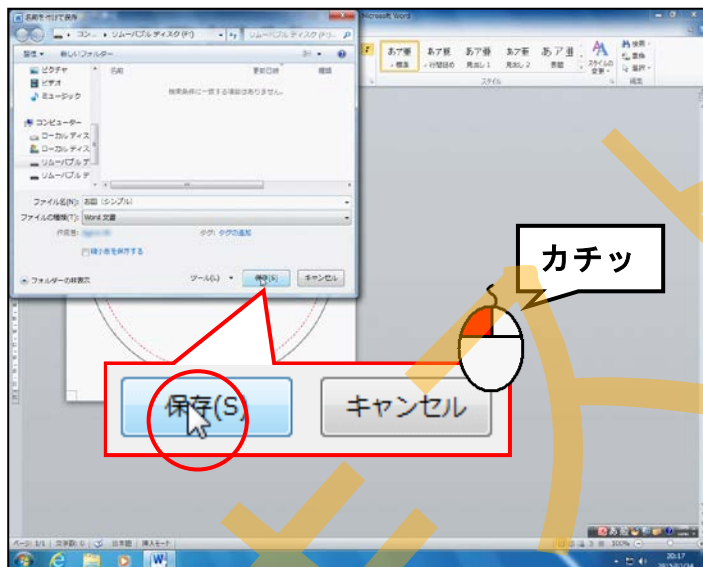


【ファイル名(N):】 ボックスを「お皿 (シンプル)」に変更します。

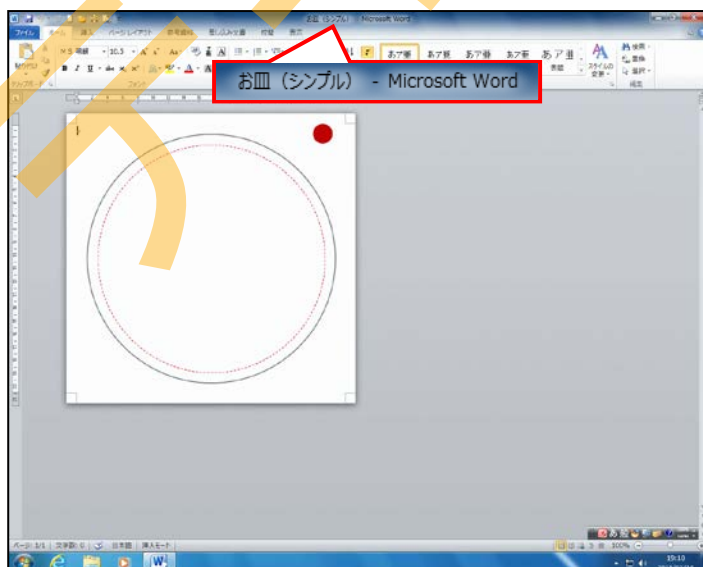


- 【ファイル名(N):】 ボックスに表示されている「お皿ひな形 (シンプル)」を削除して、「お皿 (シンプル)」を入力しましょう。

【保存(S)】 ボタンにポイントし、クリックします。



- 【保存(S)】 ボタンをクリックするという操作は、指定した場所に、指定した名前で「保存しなさい」という命令を行う操作となります。



- 保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わります。
(これでリムーバブルディスクに保存完了です)

3. 画像を挿入する その1

注意!

インターネットや本などから取った画像やイラスト、言葉などには著作権があります！

インターネットや本などから取った画像やイラストで、皆さんが作成した成果物を業者などに依頼し、それを購入すると、業者側の責任はもちろん、依頼した皆さんも責任に問われることがありますので、著作権法には十分に注意しましょう。

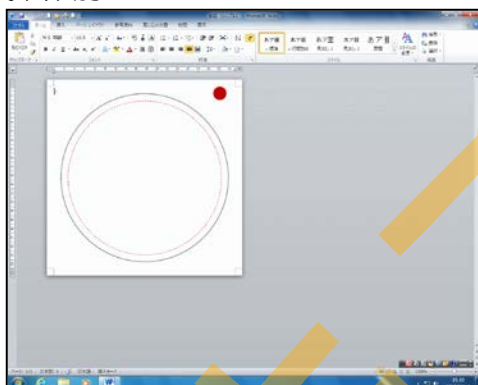
家庭内で仕事以外の目的で使用するためにご自分で作成、印刷するのであれば（私的利用のため）、著作物は自由に使えます。



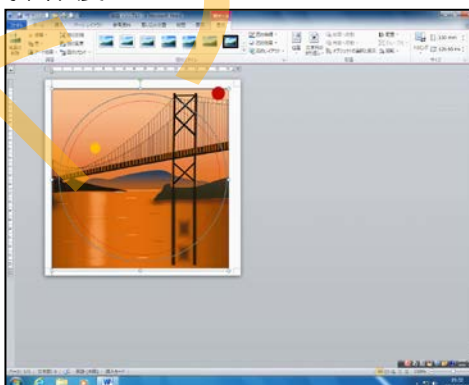
(1) 画像を挿入する

◆お皿のひな形に画像を挿入する方法をマスターしましょう。

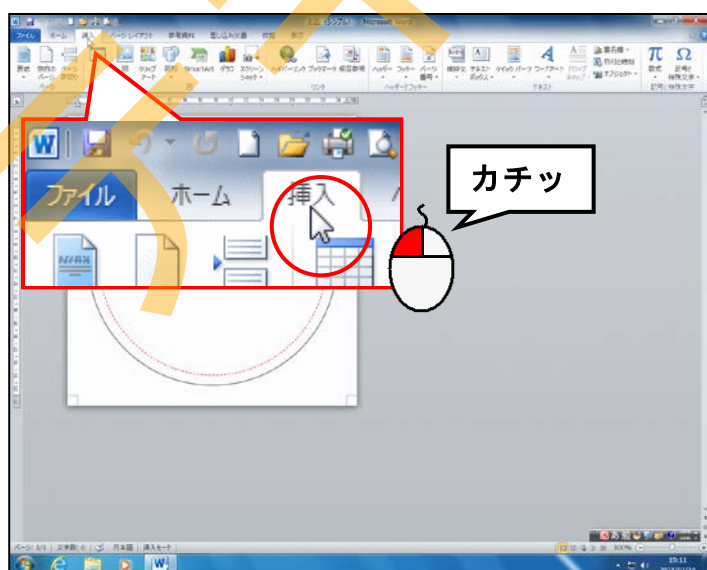
操作前



操作後

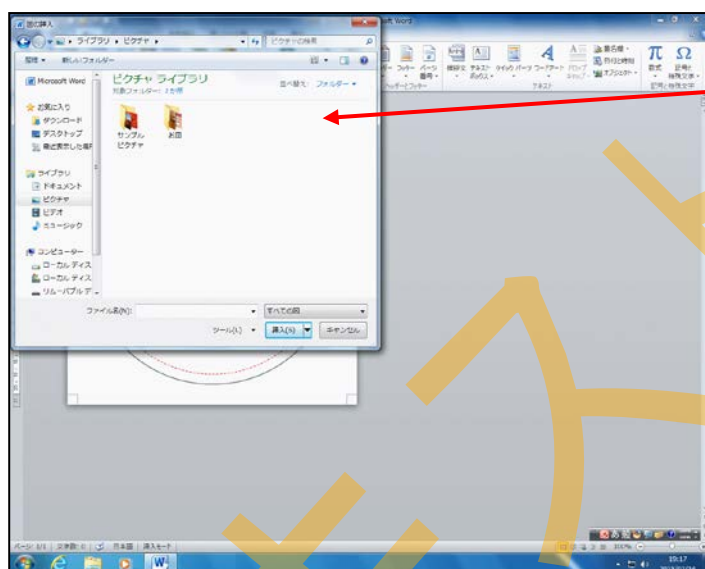
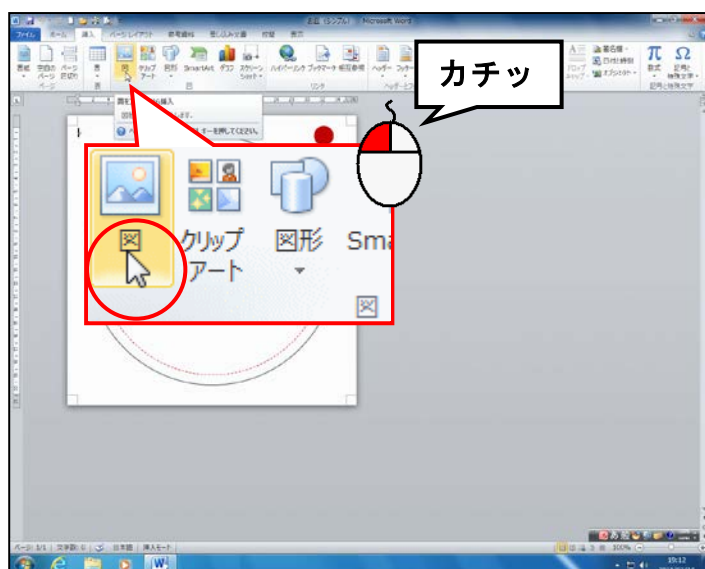


【挿入】タブにポイントし、クリックします。



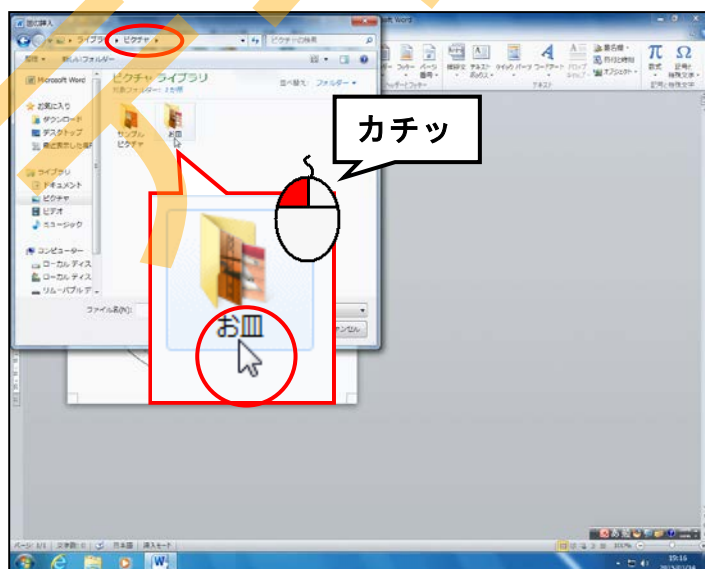
- 【挿入】タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

【図】グループにある  【図】ボタンにポイントし、クリックします。



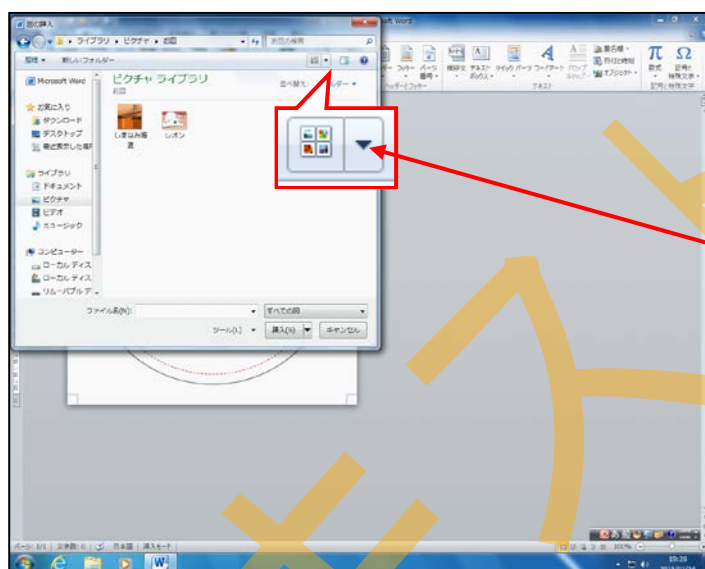
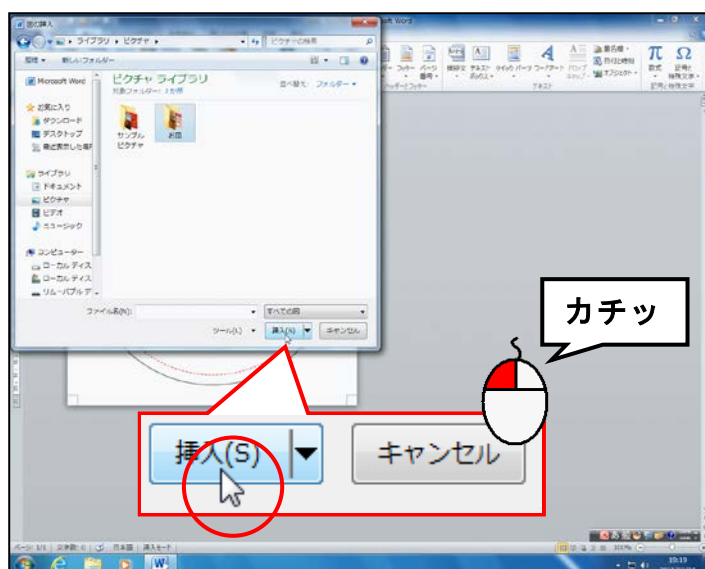
-  【図】ボタンをクリックすると、左のように挿入する画像のある場所を指定するための【図の挿入】ダイアログボックスが表示されます。

【図の挿入】ダイアログボックスの【ファイルの場所】ボックスに「ピクチャ」が表示されていることを確認して「お皿」フォルダーにポイントし、クリックします。



- このテキストで作成するお皿の素材は、「ピクチャ」フォルダーの「お皿」フォルダーにすべて保存していますが、皆さんがオリジナルのお皿を作成する場合、素材となる画像をどこに保存したかによって、ファイルの場所は変わってきます。

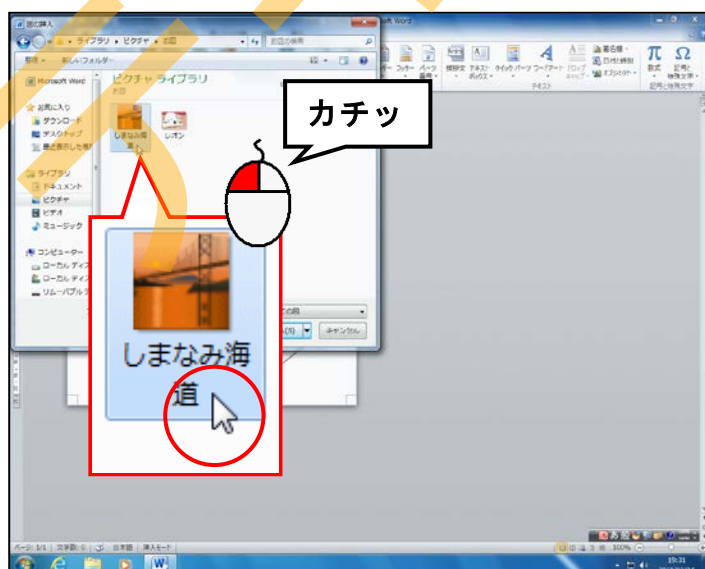
【図の挿入】ダイアログボックス右下にある【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



● 【挿入(S)】ボタンをクリックすると、左のように【お皿】フォルダーの中身が表示されます。

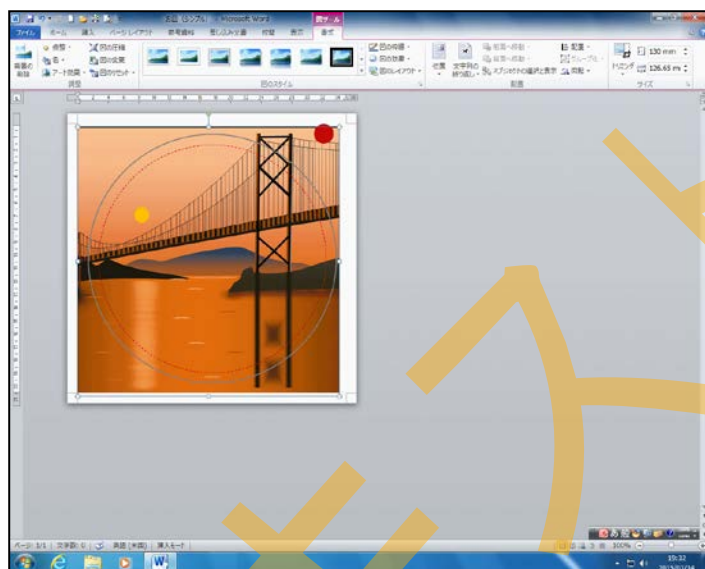
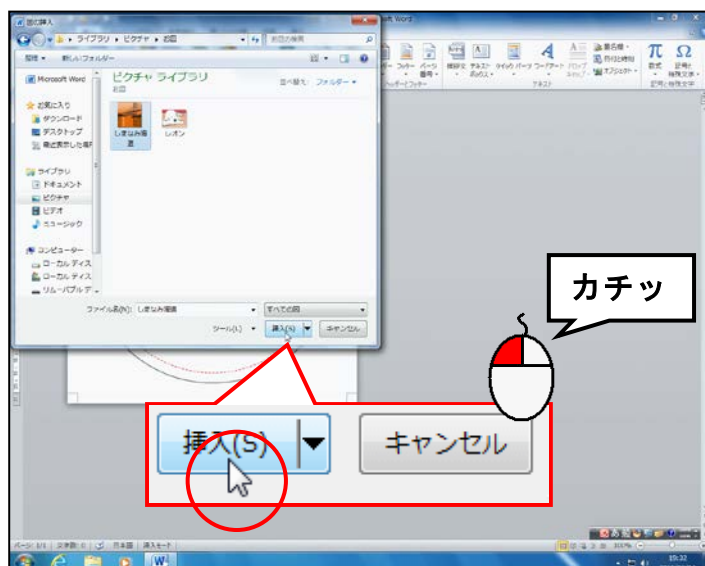
● 【お皿】フォルダーの中身が左のように表示されない場合は、【図の挿入】ダイアログボックスの右上にある▼をクリックして、 中アイコン をクリックしてください。

表示された一覧から「しまなみ海道」にポイントし、クリックします。



● 「しまなみ海道」の画像を挿入するために、クリックして選択します。

【図の挿入】ダイアログボックス右下にある【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。

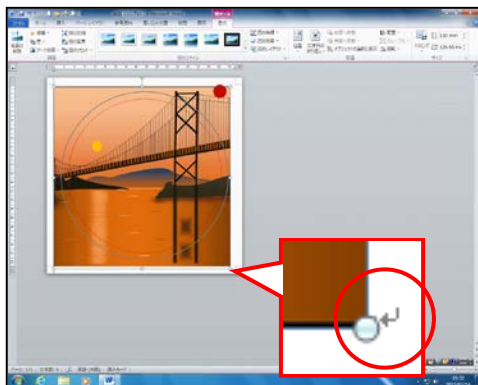


●【挿入(S)】ボタンをクリックすると、左のように画像が挿入されます。

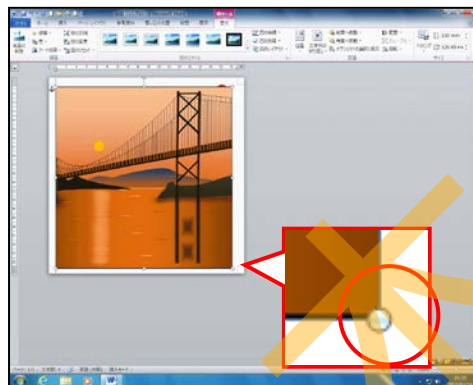
(2) 文字列の折り返しを設定する

◆挿入した画像に文字列の折り返しを設定する方法をマスターしましょう。

操作前

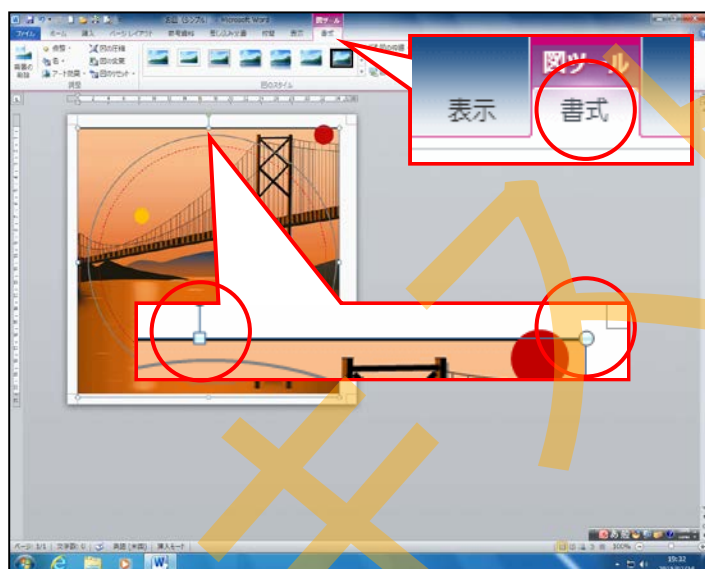


操作後



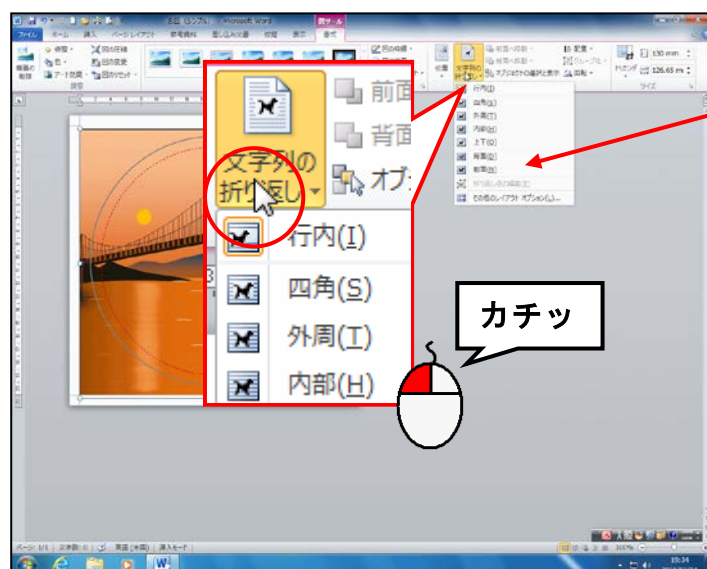
⬇ (改行マーク) が画像の右下から左上に移動して、画像が移動できるようになります。
画面上では ⬇ (改行マーク) が画像の背面に隠れます。

挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。



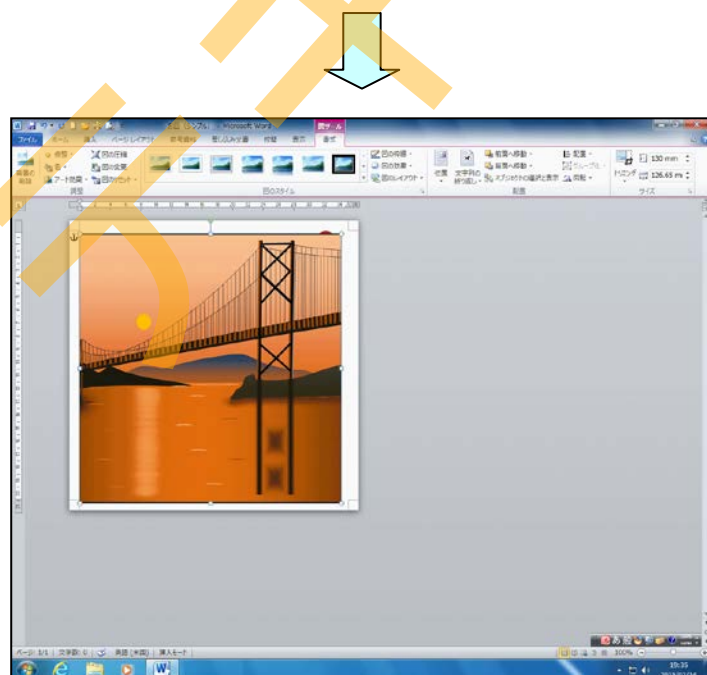
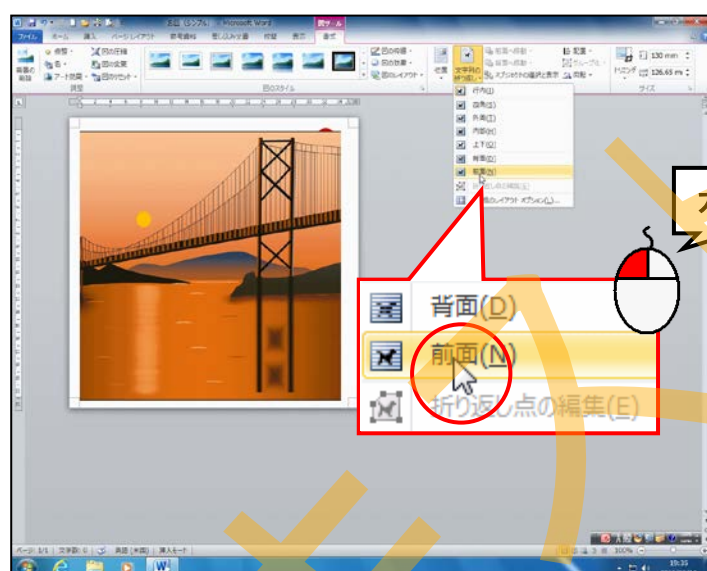
●挿入した画像の周りに ● や □ (サイズ調整ハンドル) が表示されていれば、画像が選択されています。
選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが ⬇ になったところで、クリックして選択しておきましょう。

【配置】グループにある [文字列の折り返し] ボタンにポイントし、クリックします。



● [文字列の折り返し] ボタンをクリックすると、左のように折り返しの一覧が表示されます。

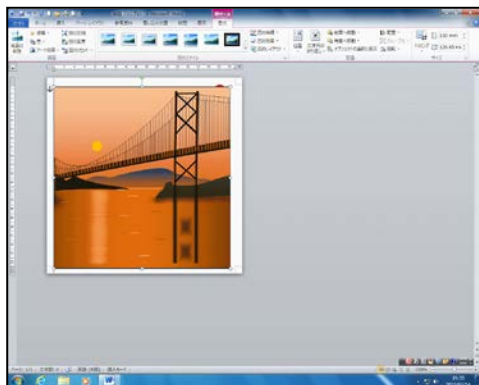
表示された一覧から [前面(N)] にポイントし、クリックします。



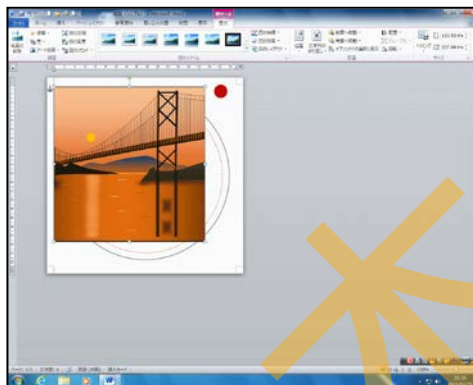
(3) 画像の大きさを変更する

◆挿入した画像の大きさを変更する方法をマスターしましょう。

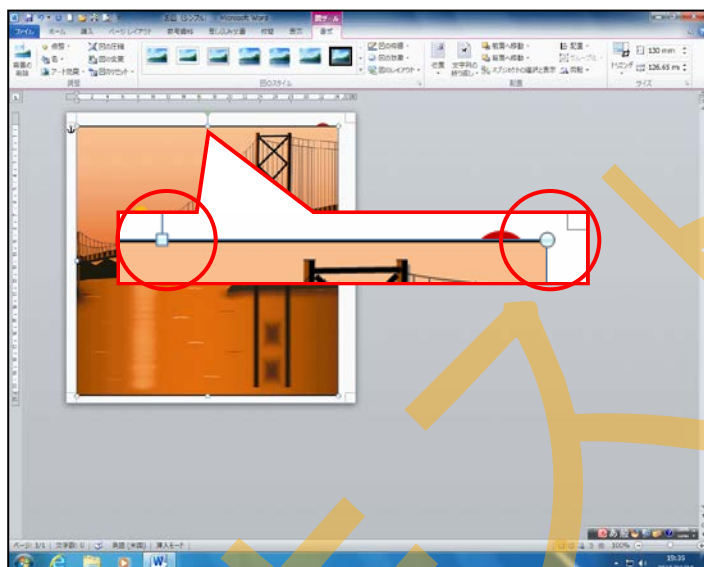
操作前



操作後

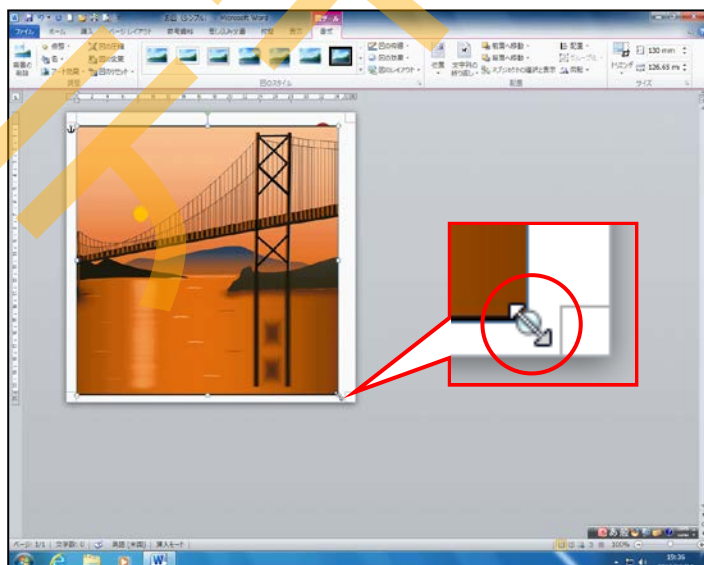


挿入した画像の周りに  や  (サイズ調整ハンドル) が表示されていることを確認します。



- 選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

右下に表示された  (サイズ調整ハンドル) にポイントします。



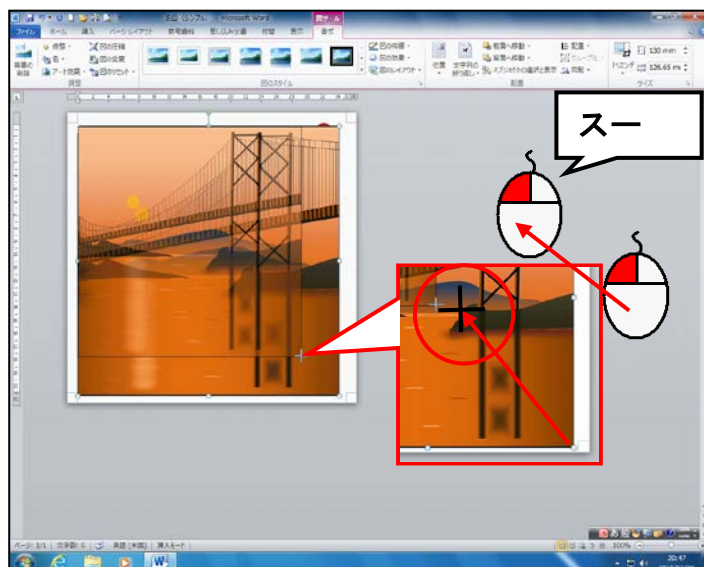
- 右下に表示された  (サイズ調整ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

- ポイントするハンドルによって、マウスポインターは次のようにいろいろな形に変わります。

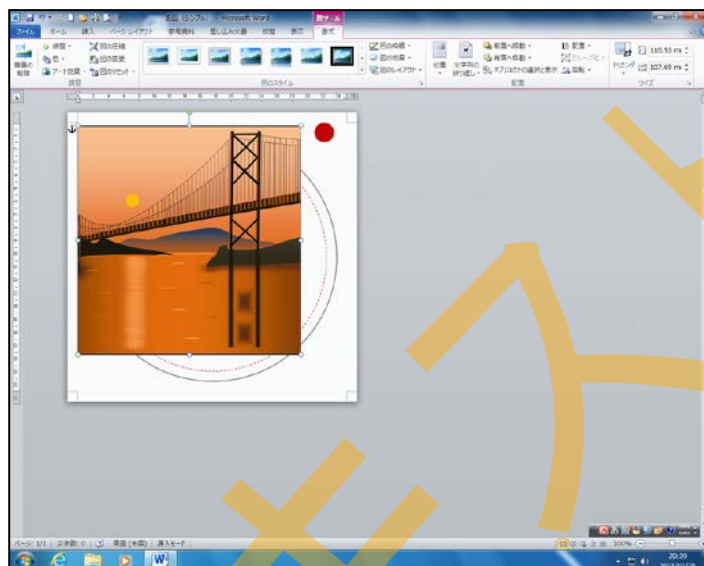


画像の縦と横の比率を変えずに大きさを調整する場合は、マウスポインターが  もしくは  の状態でドラッグします。

そのまま、マウスポインターが  の状態で左上に向かってドラッグします。



●ドラッグ中、マウスポインターの形は、 になっています。

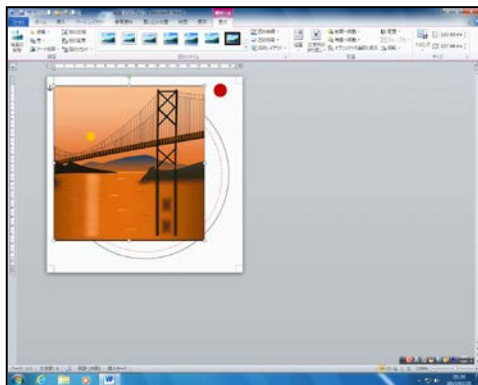


●マウスから指を離した時点で、画像のサイズが確定します。

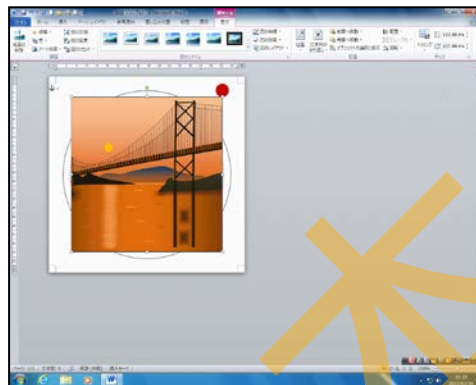
(4) 画像を移動する

◆挿入した画像を移動する方法をマスターしましょう。

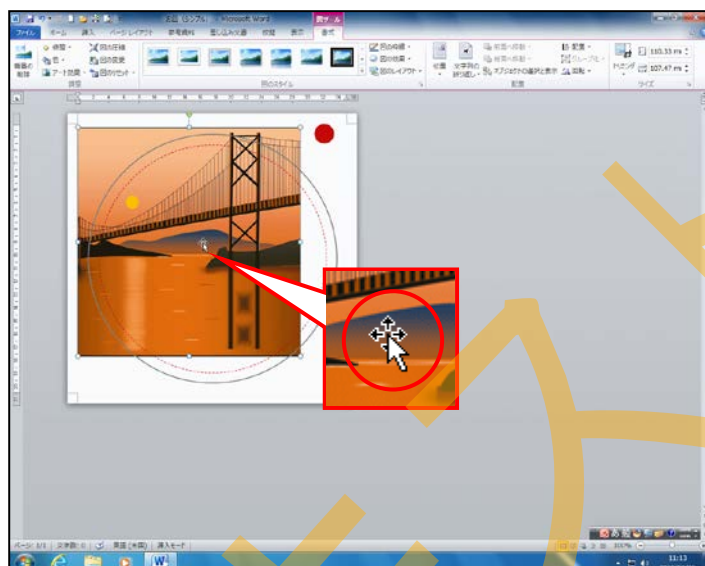
操作前



操作後

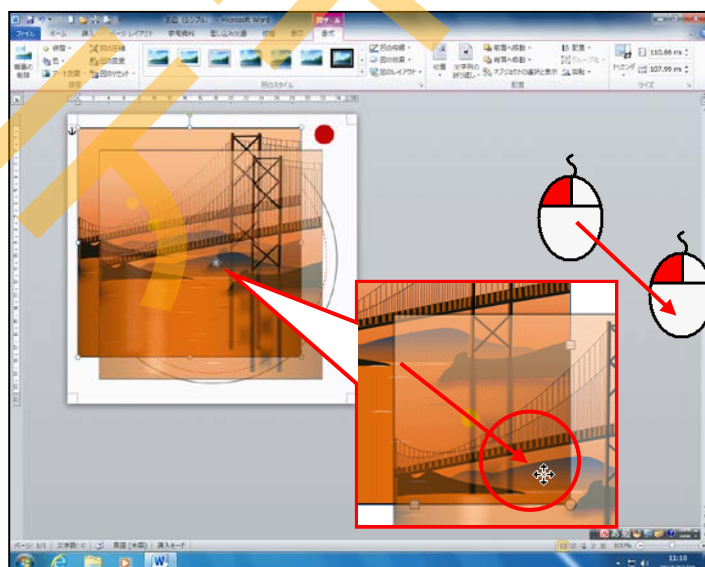


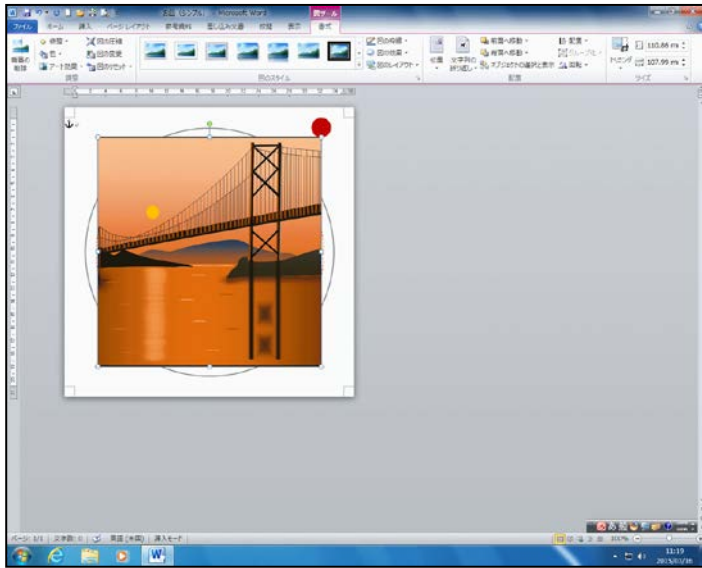
挿入した画像にポイントします。



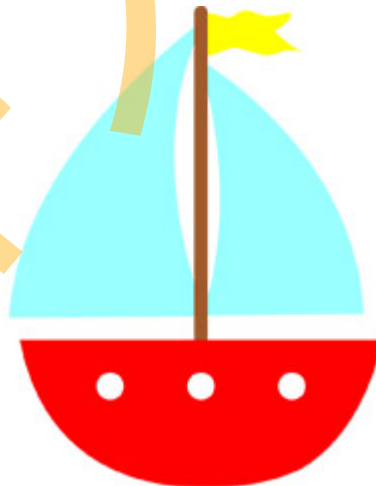
●画像にポイントすると、マウスポインターが  の形になります。

そのまま、右下に向かってドラッグします。





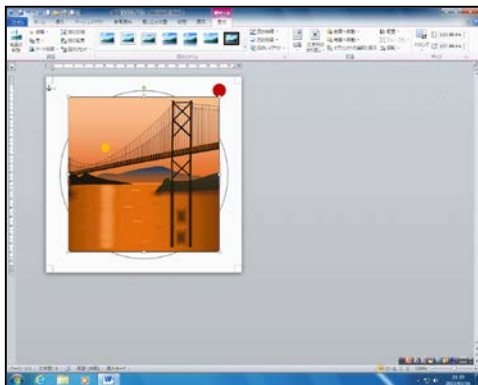
●マウスから指を離すと、画像の位置が確定します。



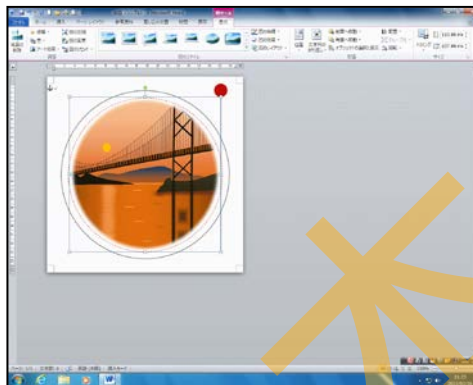
(5) 画像にスタイルを適用する

◆画像にスタイルを設定する方法をマスターしましょう。

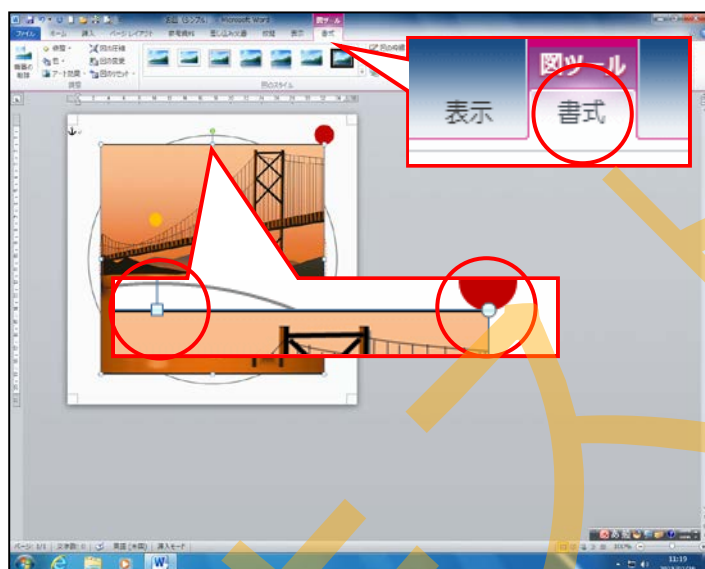
操作前



操作後

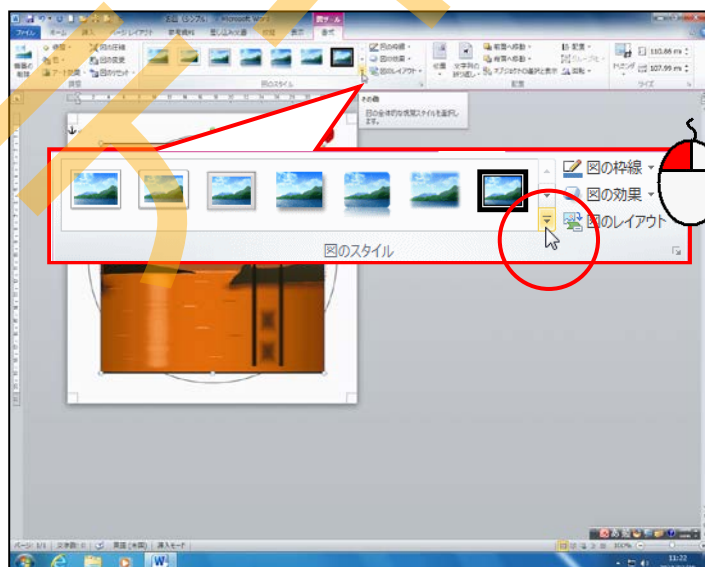


挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。

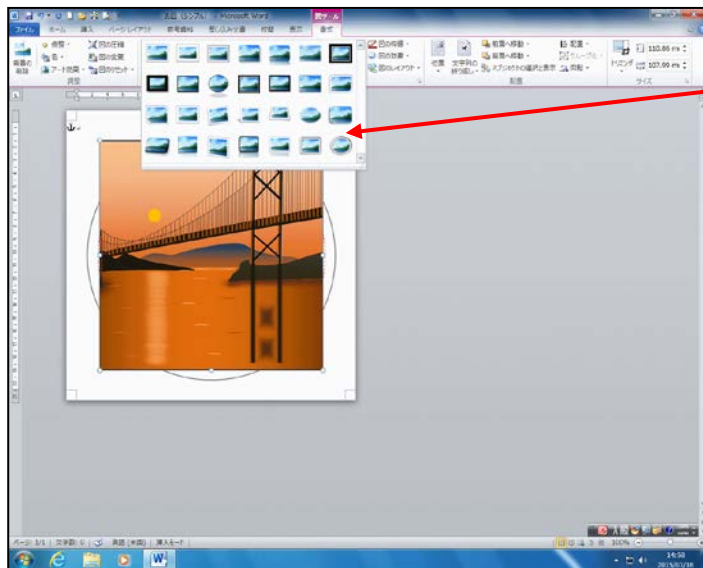


●挿入した画像の周りに○や□（サイズ調整ハンドル）が表示されている場合は、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが☞になったところで、クリックして選択しておきましょう。

「図のスタイル」グループにある▼「その他」ボタンにポイントし、クリックします。

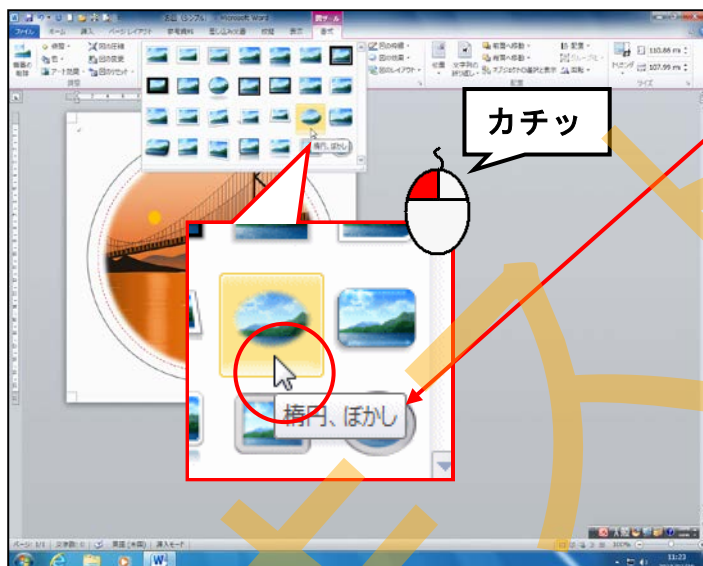


カチッ

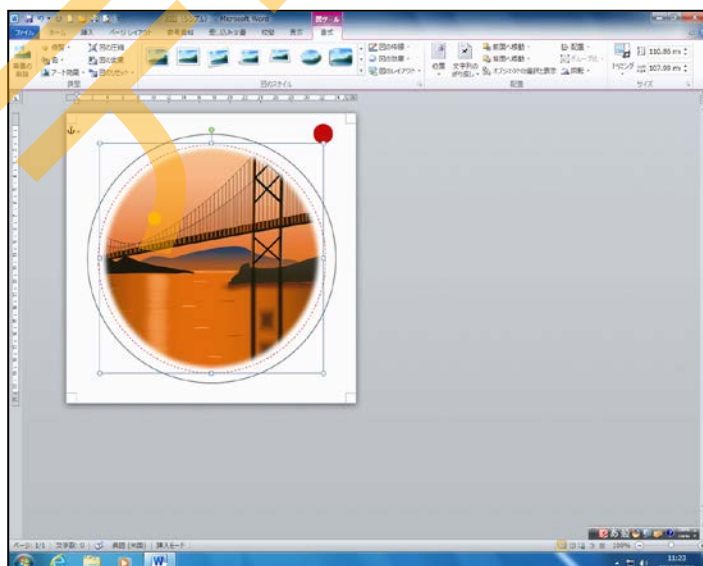


- [その他] ボタンをクリックすると、左のようにスタイルの一覧が表示されます。

表示された一覧の中から「楕円、ぼかし」にポイントし、クリックします。



- 目的のスタイルにポイントすると、左のようにスタイルの名前がポップヒントとして表示されます。

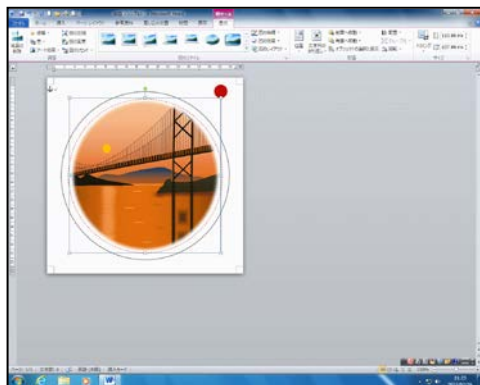


- 「楕円、ぼかし」をクリックすると、左のようにスタイルが設定されます。
- 赤点枠に挿入した画像が収まっていない場合は、画像の大きさを調整しましょう。
また、配置がずれている場合は、画像を移動して調整しましょう。

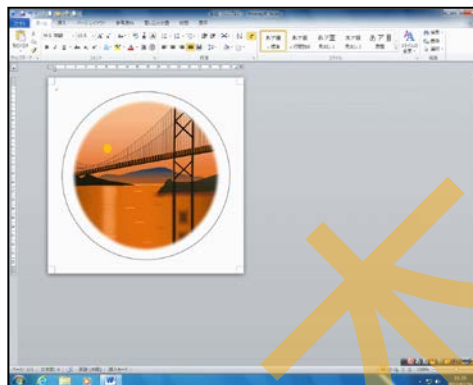
4. ガイドを消す

◆赤枠のガイドを消す方法をマスターしましょう。

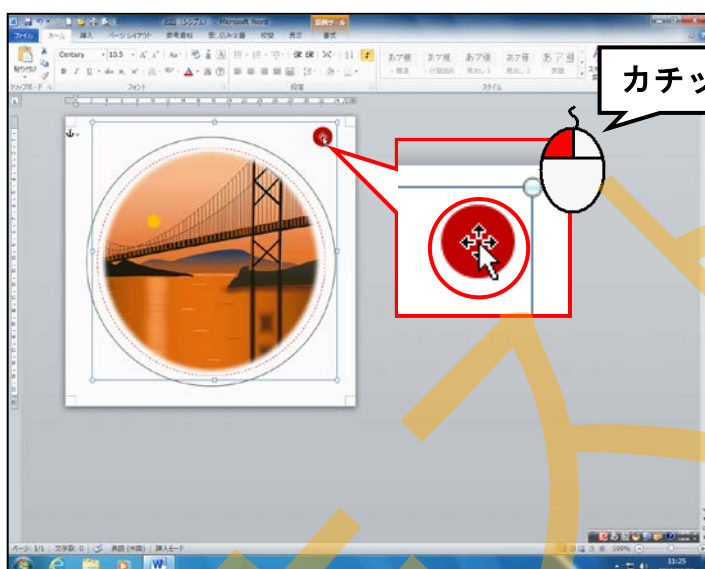
操作前



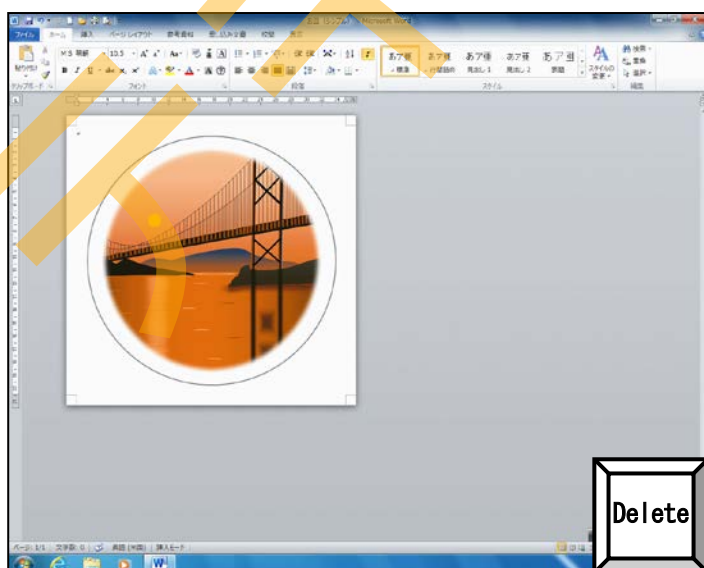
操作後



ガイドの右上にある赤色の ● にポイントし、クリックします。



[Delete] キーを押します。



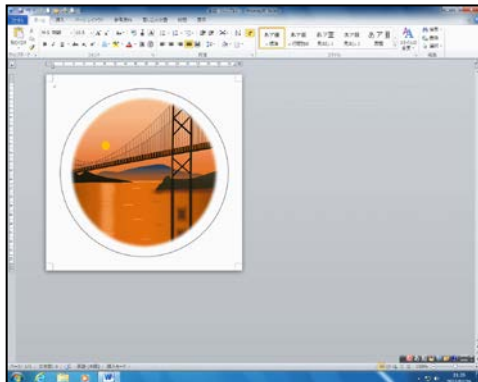
●残った黒い枠線は、業者がお皿に印刷する際に目印となる線ですので、実際には絵柄のみが印刷されます。



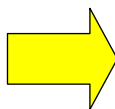
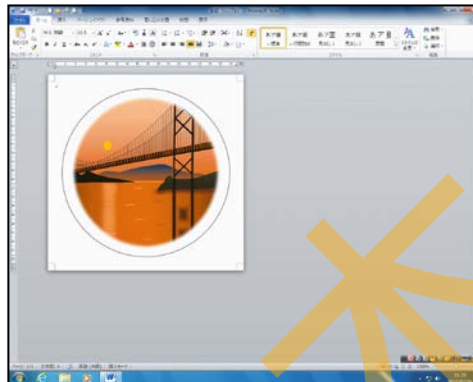
5. 上書き保存する

◆お皿を上書き保存する方法をマスターしましょう。

操作前

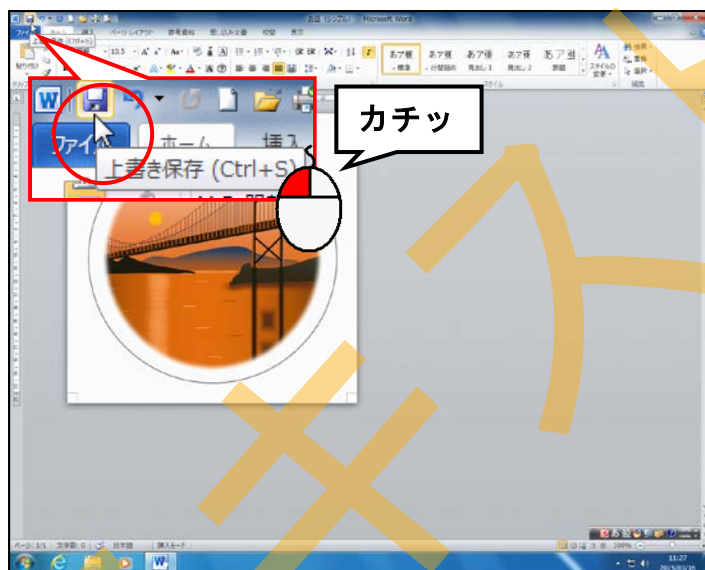


操作後



画面上は何も変わりません

画面左上（[クイックアクセス] ツールバー）の  [上書き保存] ボタンにポイントし、クリックします。



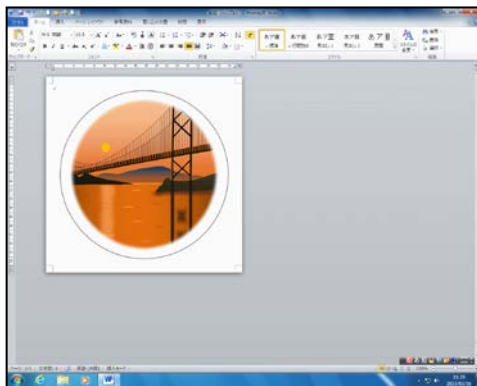
●保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わります。（これで、上書き保存完了です）

6. PDF 形式で保存する

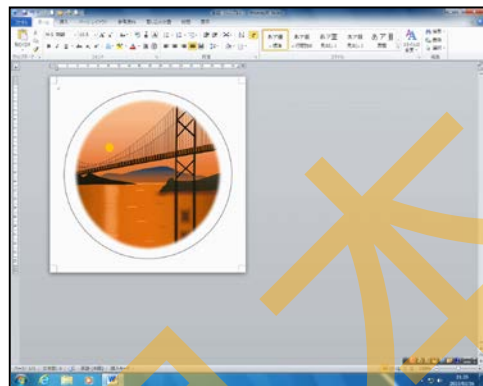
完成したお皿を、リムーバブルディスクに「PDF 形式」で保存しましょう。

◆PDF 形式で保存する方法をマスターしましょう。

操作前



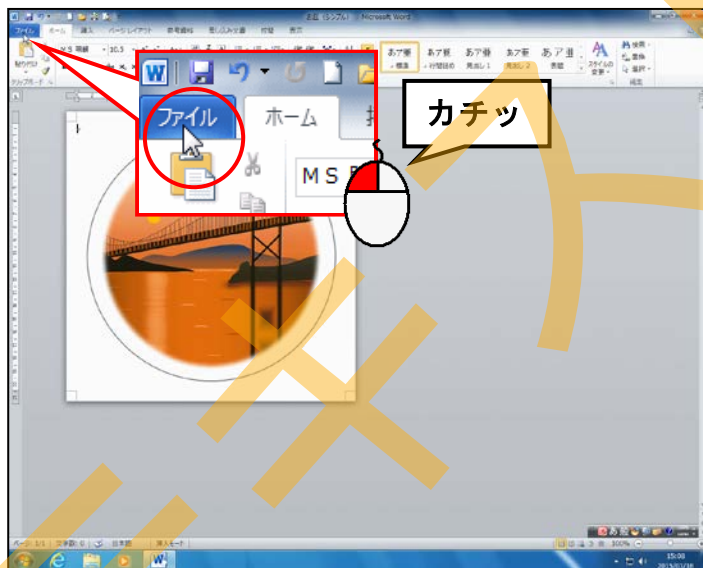
操作後

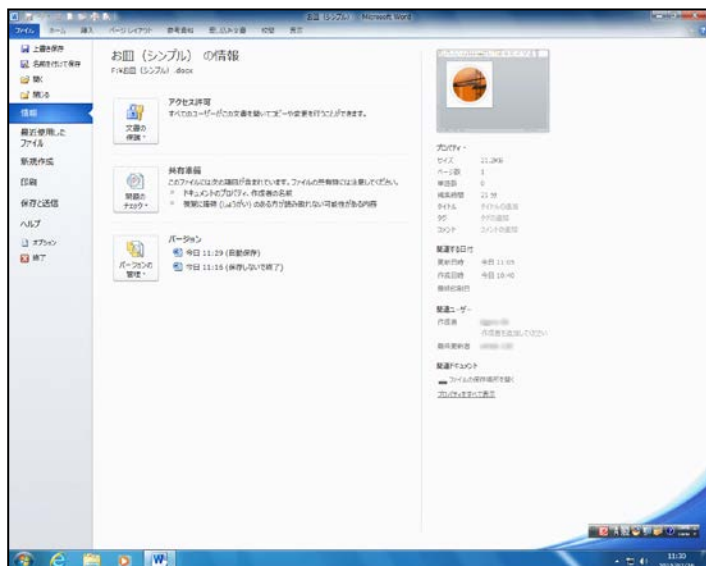


PDF 形式とは印刷するのと同じ状態のイメージを保存するためのファイル形式です。

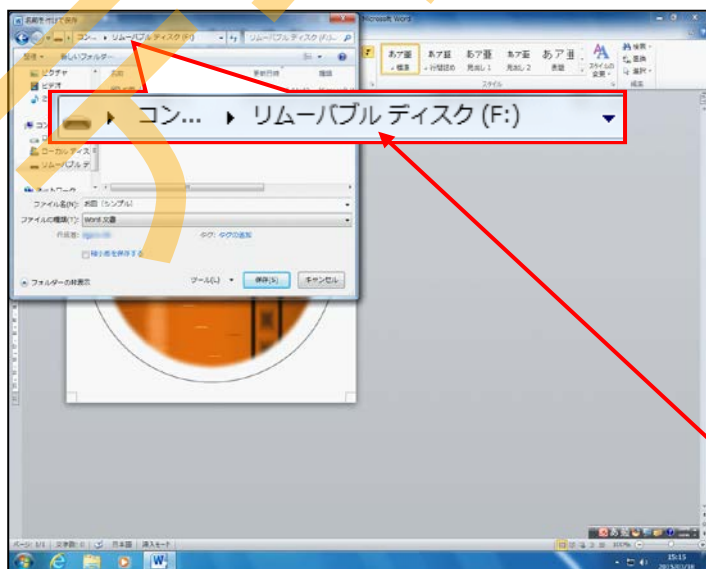
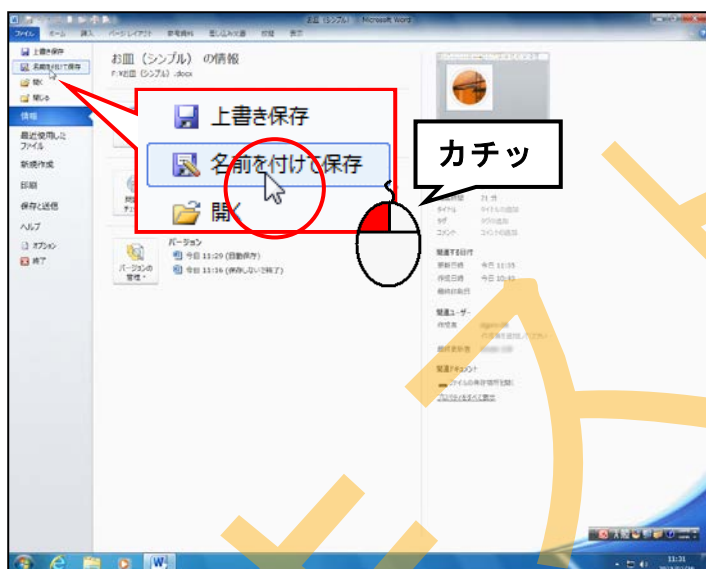
※操作に入る前に、リムーバブルディスクをパソコンに差し込んでください。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。





【名前を付けて保存】にポイントし、クリックします。



- 【保存先】ボックスに【リムーバブルディスク (F:)】が表示されていることを確認しましょう。
表示されていない方は、P7 から P8 の操作をして、【保存先】ボックスに【リムーバブルディスク (F:)】を表示させましょう。

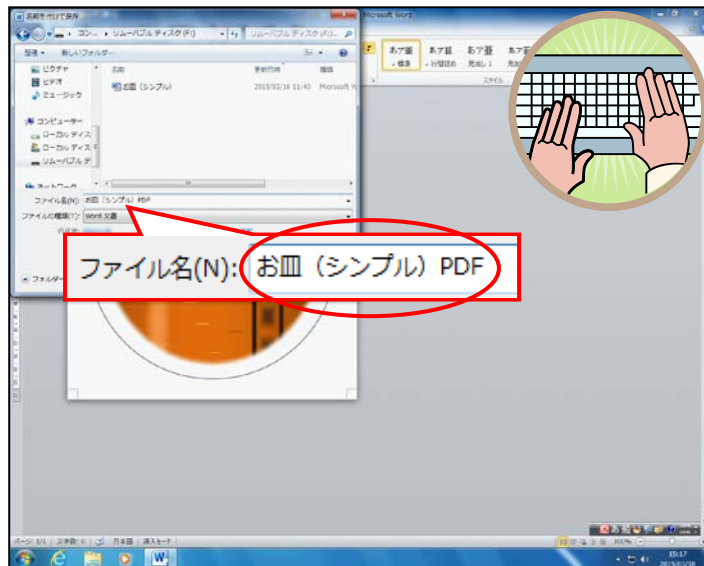
注意!

- お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが「(F:)」とは限りません。

必ず確認を!!

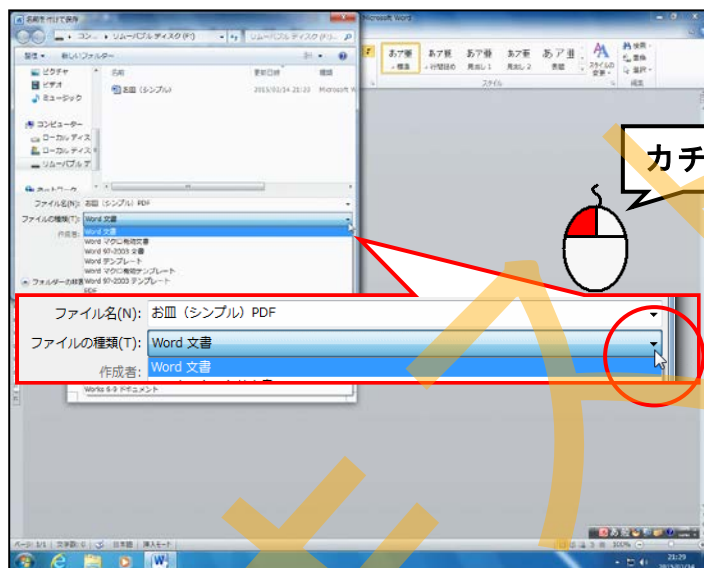


【ファイル名(N):】 ボックスを「お皿 (シンプル) PDF」に変更します。

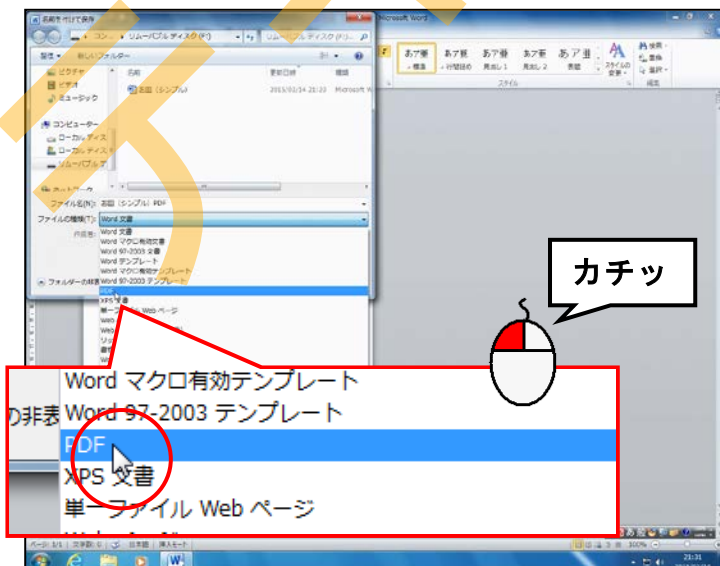


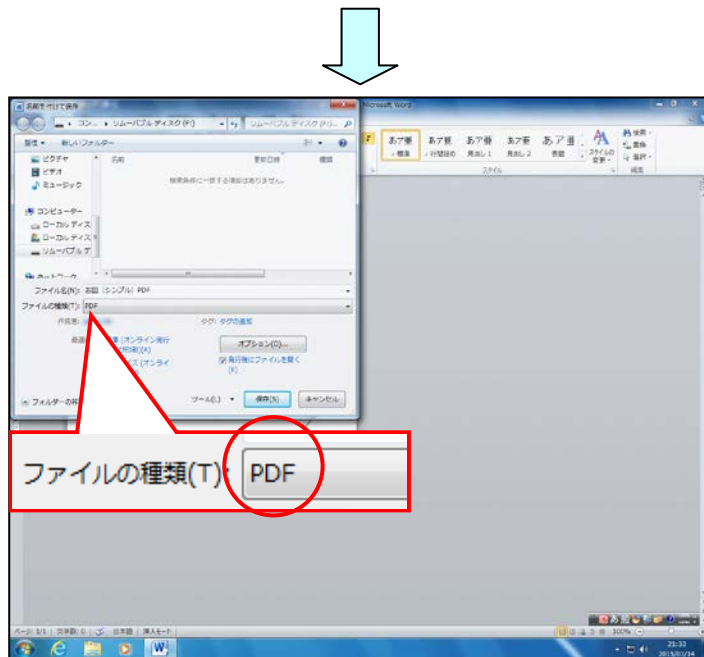
- 【ファイル名(N):】 ボックスに表示されている「お皿 (シンプル)」を削除して、「お皿 (シンプル) PDF」を入力しましょう。

【ファイルの種類(T):】 ボックスの右にある ▼ にポイントし、クリックします。

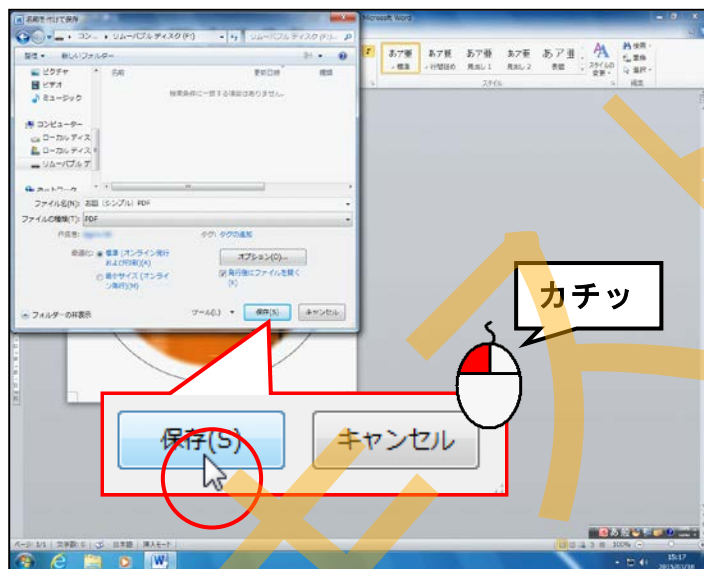


表示された一覧から「PDF」にポイントし、クリックします。

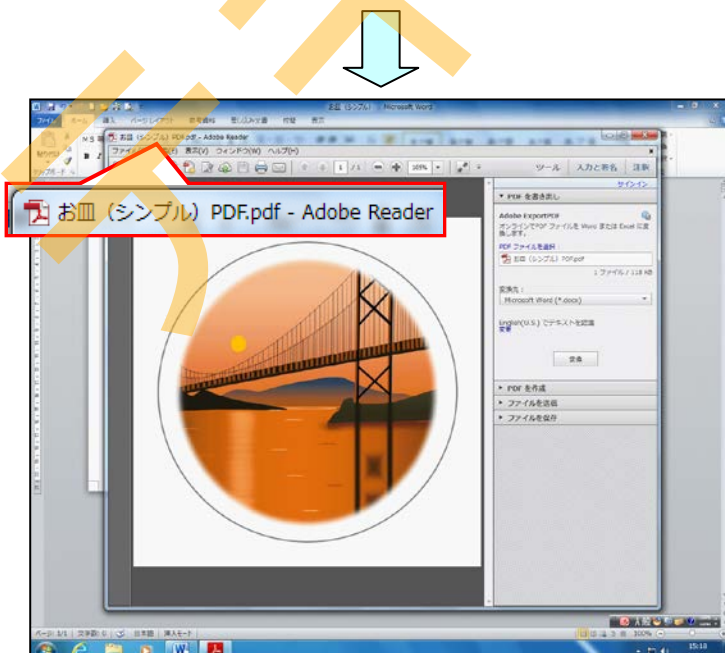




【保存(S)】ボタンにポイントし、クリックします。

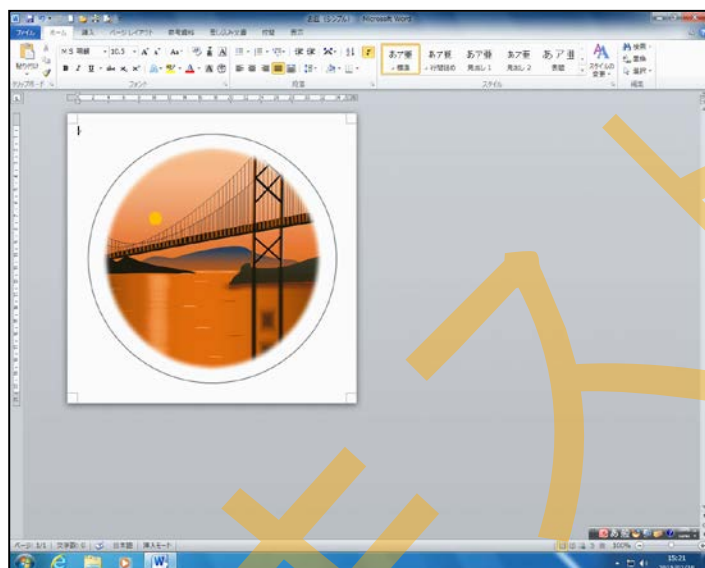
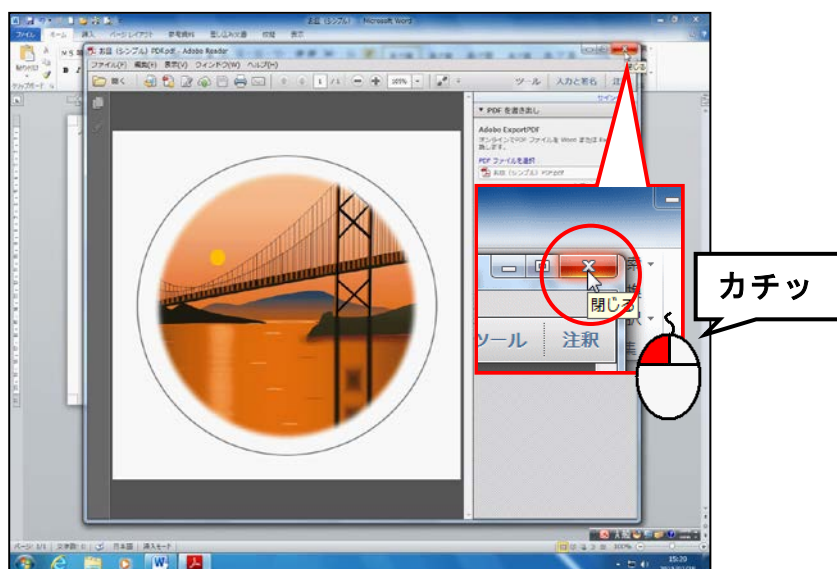


- 【保存(S)】ボタンをクリックするという操作は、指定した場所に、指定した名前で「保存しなさい」という命令を行う操作となります。



- 保存処理中は、マウスポインターが  の状態になっていますが、少し待つと  の状態に変わります。(これでリムーバブルディスクに保存完了です)

「Adobe Reader」ウィンドウの  [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。

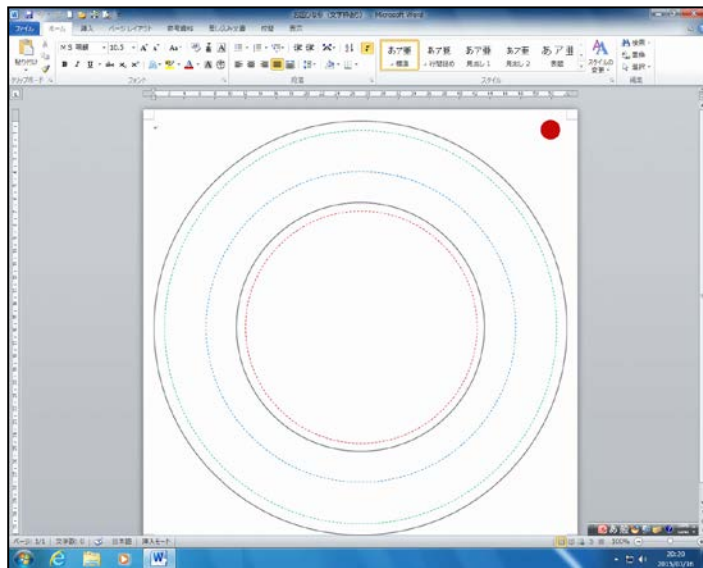


文書ウィンドウを閉じておきましょう。

7. 画像を挿入する その2

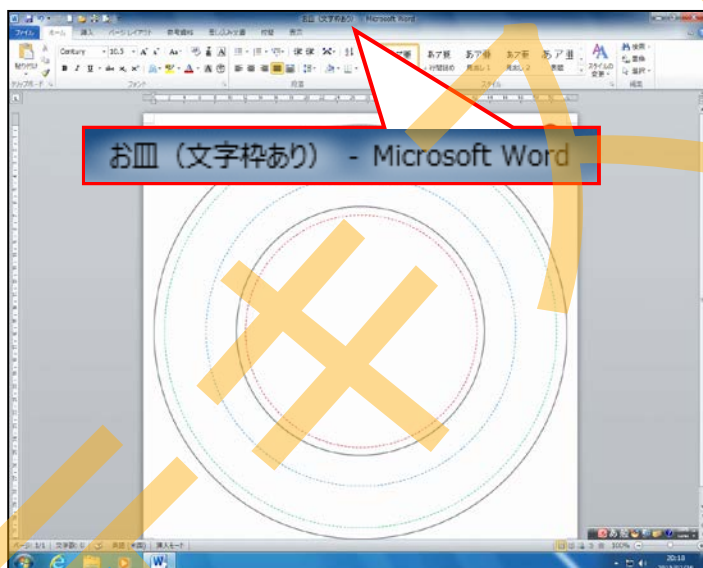
画像のみのお皿が完成したところで、次は文字入りのお皿を作成していきましょう。

ワード画面を開き、「ドキュメント」フォルダーから「お皿ひな形（文字枠あり）」を開きましょう。



- ひな形を開く方法を忘れた方は、P2 1. お皿のひな形を開くを参照しましょう。

開いた「お皿ひな形（文字枠あり）」をリムーバブルディスクに「お皿（文字枠あり）」という名前で保存しましょう。



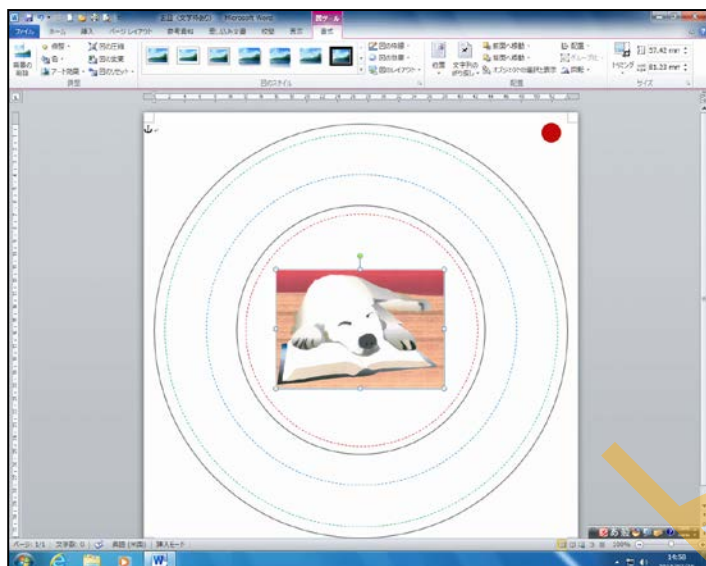
- 保存方法を忘れた方は、P5 2. お皿のひな形をリムーバブルディスクに保存するを参照しましょう。

これまでの操作を繰り返し、「お皿ひな形（文字枠あり）」に画像を挿入しましょう。

下の図を参考に画像を挿入します。

- 挿入箇所…………… 先頭にカーソルを移動して挿入してください
- 挿入画像…………… 「レオン」
- 文字列の折り返し…………… 前面

※配置、大きさは下図を参考に変更してください。

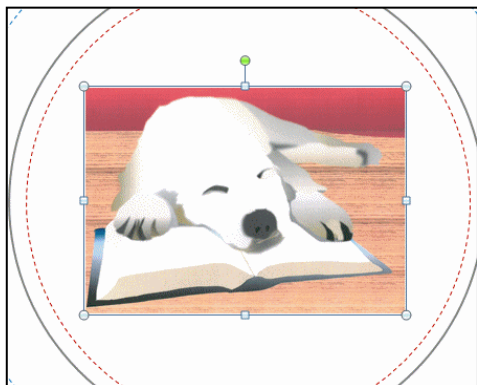


- 画像の挿入方法を忘れた方は、P10（1）画像を挿入するを参照してください。

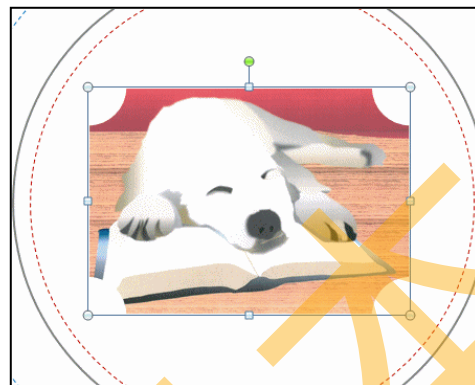
(1) 画像を図形に合わせてトリミングする

◆画像を図形に合わせてトリミングする方法をマスターしましょう。

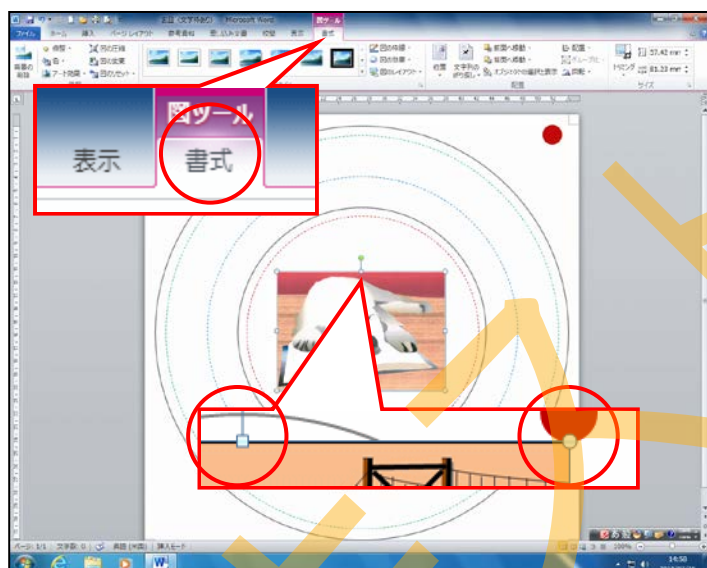
操作前



操作後

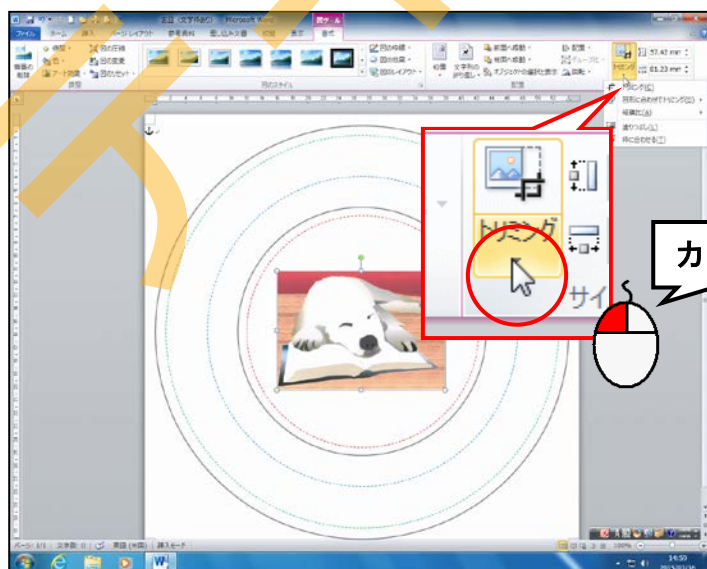


挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。

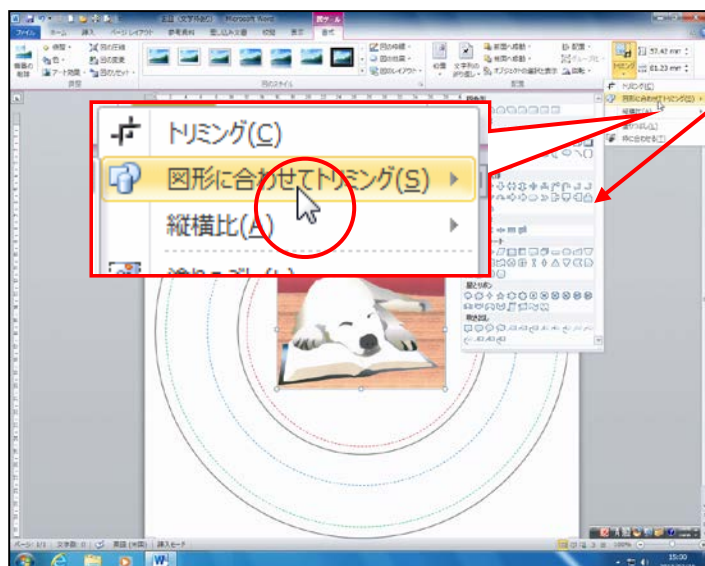


● 挿入した画像の周りに ● や □ (サイズ調整ハンドル) が表示されている場合は、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[サイズ] グループにある **トリミング** [トリミング] ボタンにポイントし、クリックします。

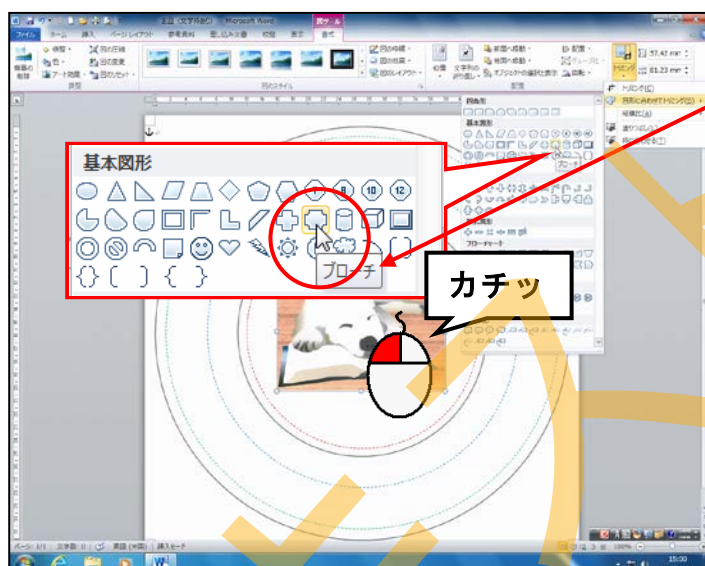


表示された一覧の中から「図形に合わせてトリミング(S)」にポイントします。

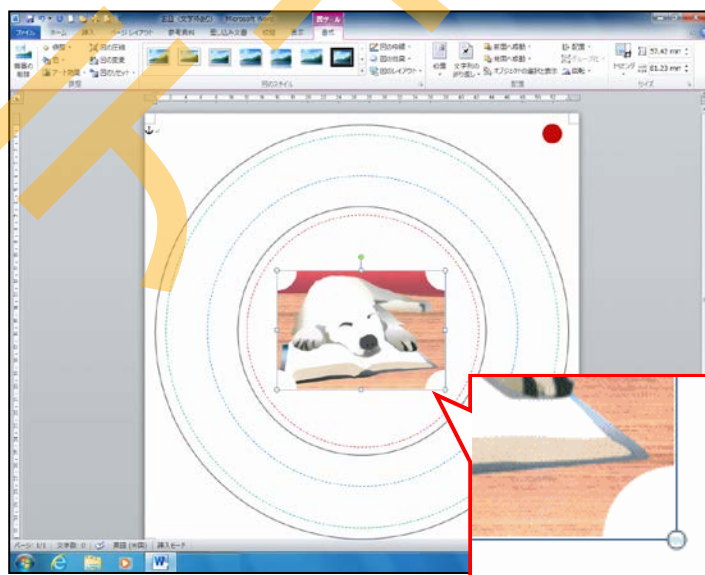


- 「図形に合わせてトリミング(S)」にポイントすると、左のようにトリミングできる図形の一覧が表示されます。

表示された図形一覧の「基本図形」にある「ブローチ」にポイントし、クリックします。



- 目的の図形にポイントすると、左のように図形の名前がポップヒントとして表示されます。

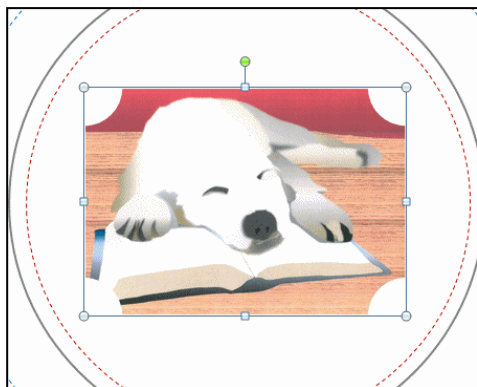


- 「ブローチ」をクリックすると、左のように画像が切り取られます。

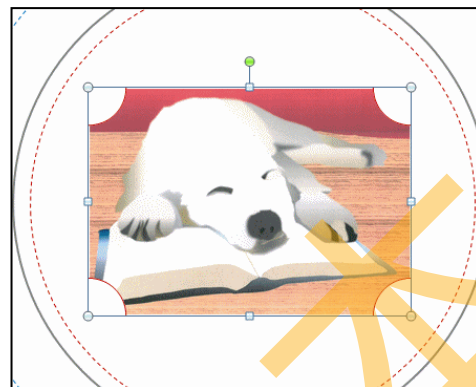
(2) 画像に枠線を付ける

◆画像に枠線を付ける方法をマスターしましょう。

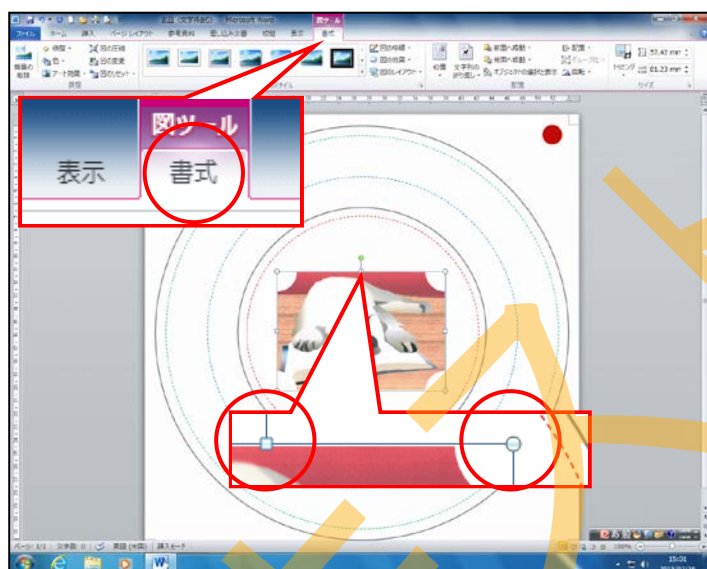
操作前



操作後

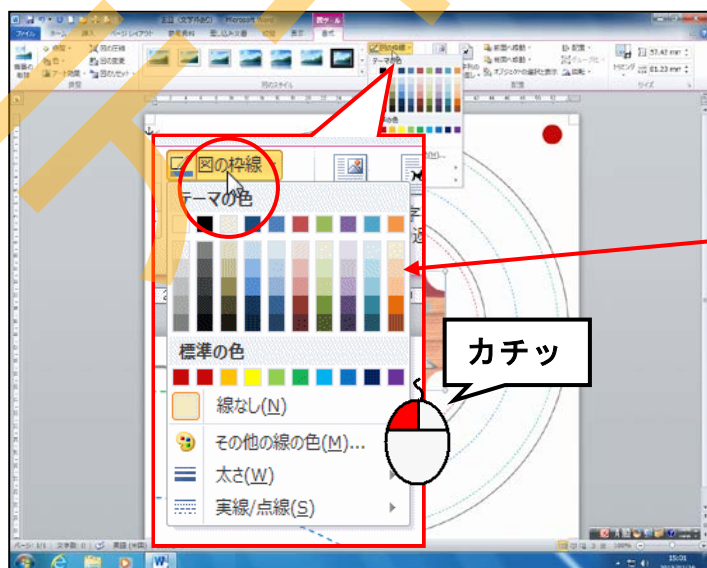


挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。



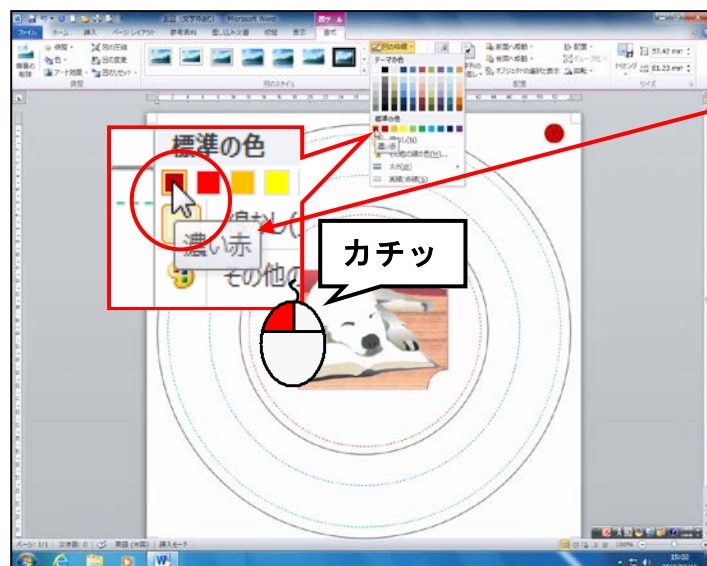
- 挿入した画像の周りに ● や ■ (サイズ調整ハンドル) が表示されている場合は、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[図のスタイル] グループにある  図の枠線 ▾ [図の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。

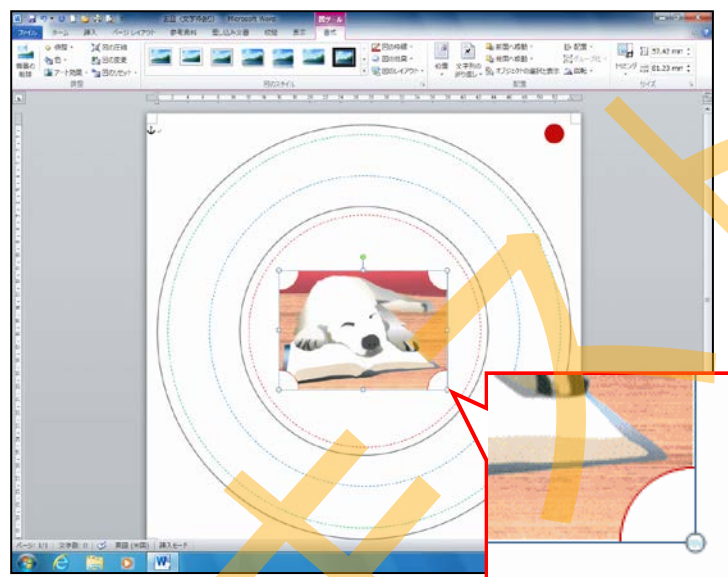


-  をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないので  図の枠線 ▾ をクリックしましょう。
-  図の枠線 ▾ [図の枠線] ボタンをクリックすると、左のように画像に設定できる色の一覧や、枠線に設定できる太さや種類が表示されます。

表示された一覧の中から「濃い赤」にポイントし、クリックします。



- 目的の色にポイントすると、左のように色の名前がポップヒントとして表示されます。

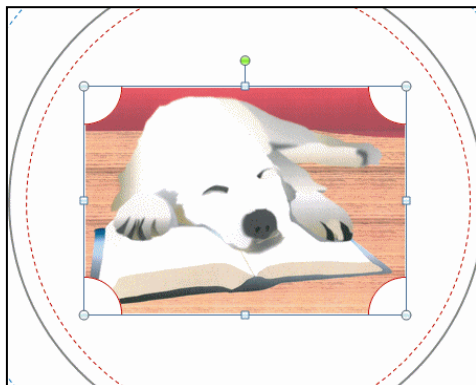


- 「濃い赤」をクリックすると、左のように画像に濃い赤の枠線が設定されます。

(3) 枠線の太さを変更する

◆枠線の太さを変更する方法をマスターしましょう。

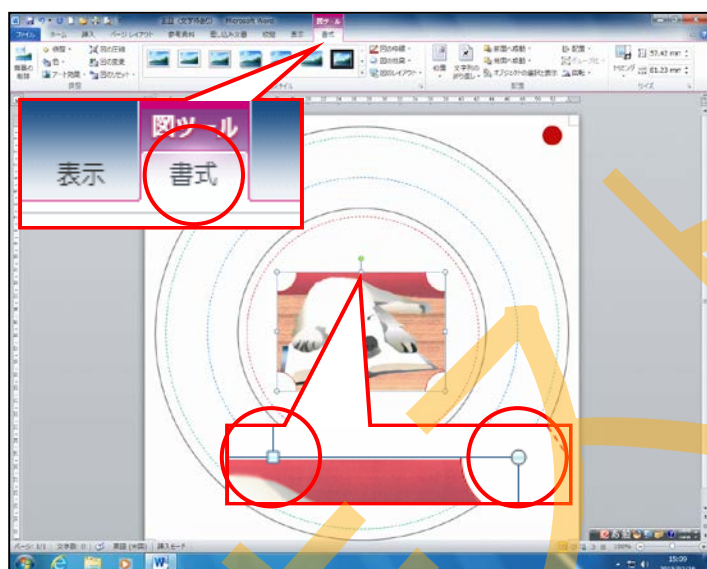
操作前



操作後

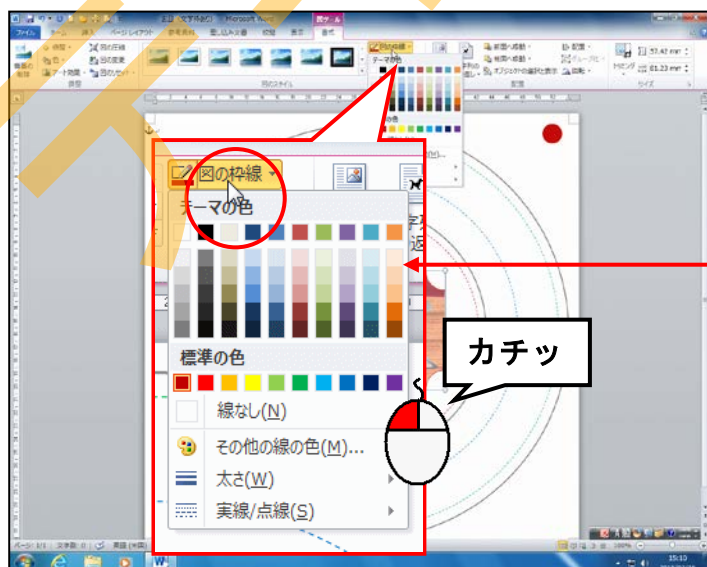


挿入した画像が選択されていること、[書式] タブが選択されていることを確認します。



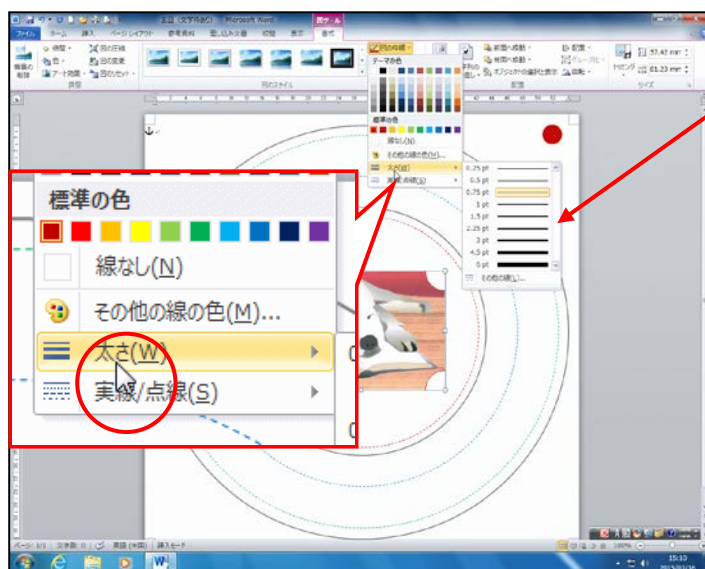
- 挿入した画像の周りに  や  (サイズ調整ハンドル) が表示されているれば、画像が選択されています。選択されていない方は、画像にポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[図のスタイル] グループにある  図の枠線 ▾ [図の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。



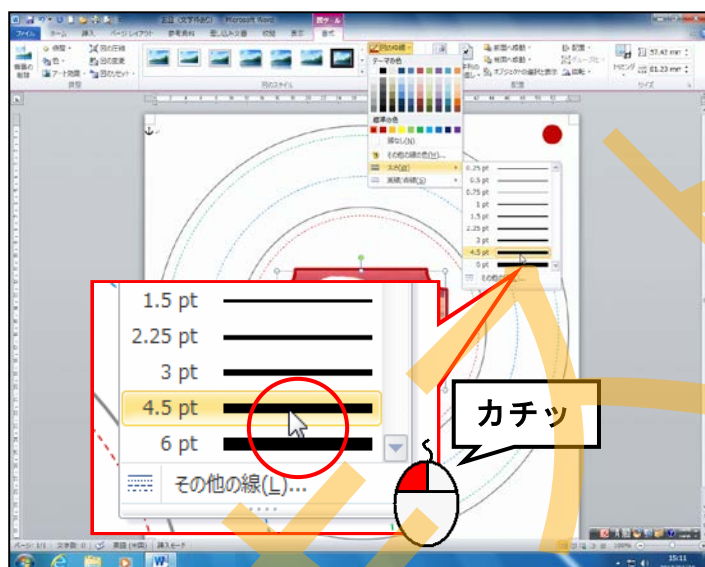
-  をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないので **図形の枠線 ▾** をクリックしましょう。
-  図の枠線 ▾ [図の枠線] ボタンをクリックすると、左のように画像に設定できる色の一覧や、枠線の太さや種類が表示されます。

表示された一覧の中から「太さ(W)」にポイントします。

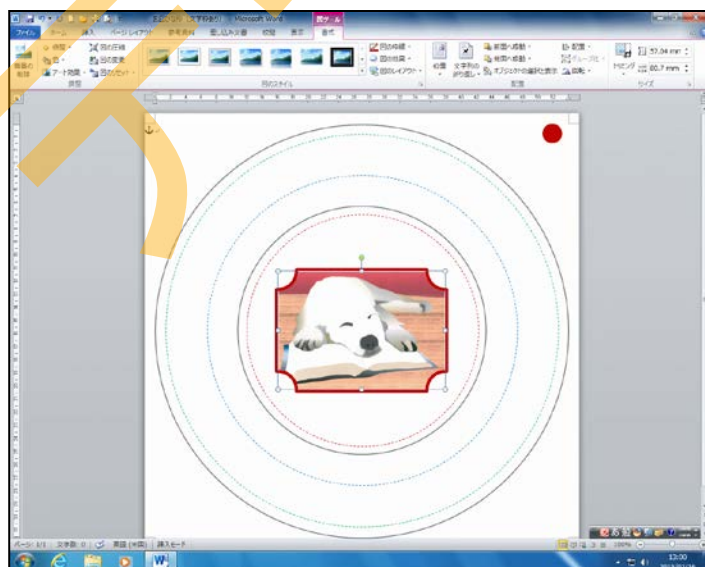


●「太さ(W)」にポイントすると、左のように設定できる枠線の太さの一覧が表示されます。

表示された一覧の中から「4.5pt」にポイントし、クリックします。



●クリックすると、枠線が太くなりました。

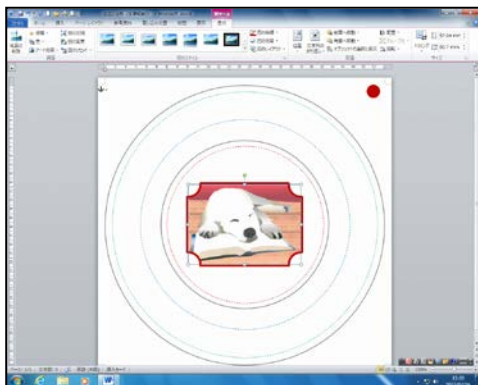


8. ワードアートの挿入

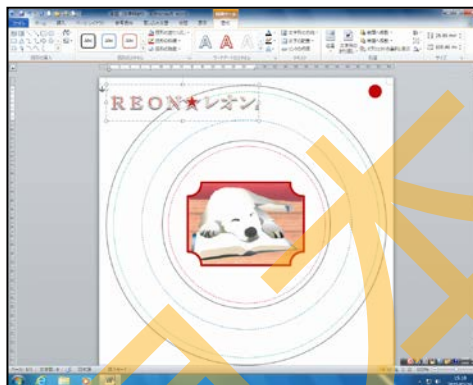
(1) ワードアートの挿入

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

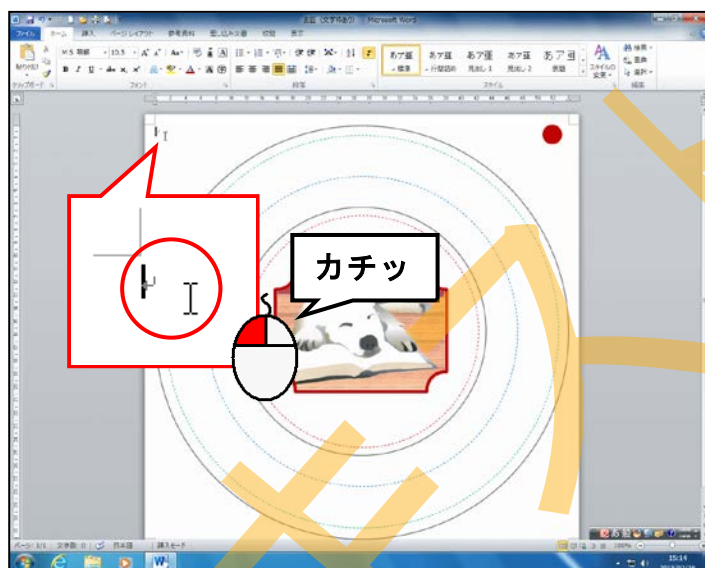
操作前



操作後

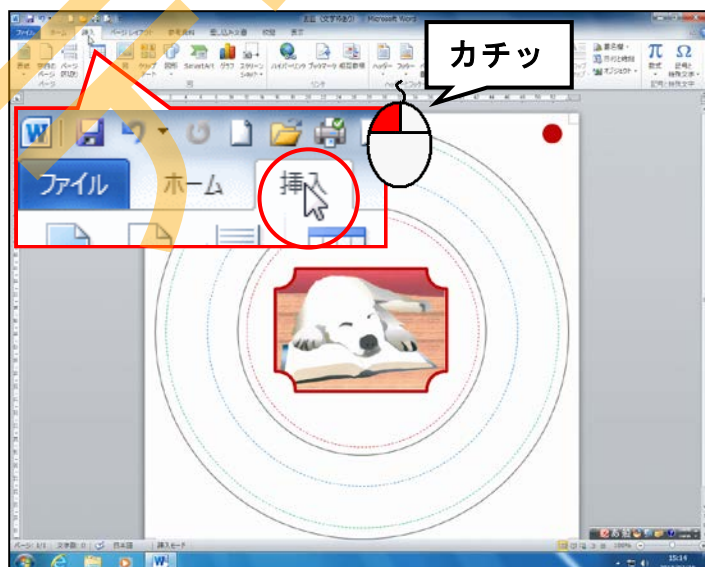


下図を参考にマウスポインターが I になる位置でクリックします。



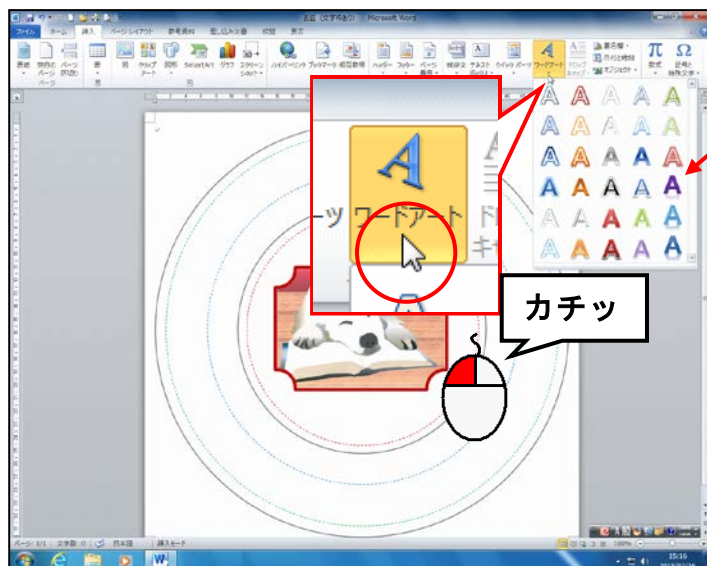
- 「ワードアート」は、カーソルのある位置に挿入されます。

【挿入】タブにポイントし、クリックします。



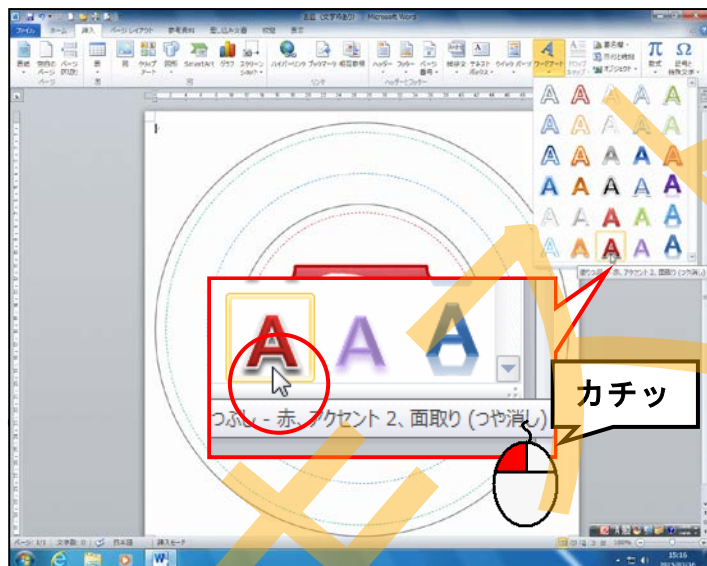
- 【挿入】タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

【テキスト】グループにある **A** 【ワードアート】 ボタンにポイントし、クリックします。



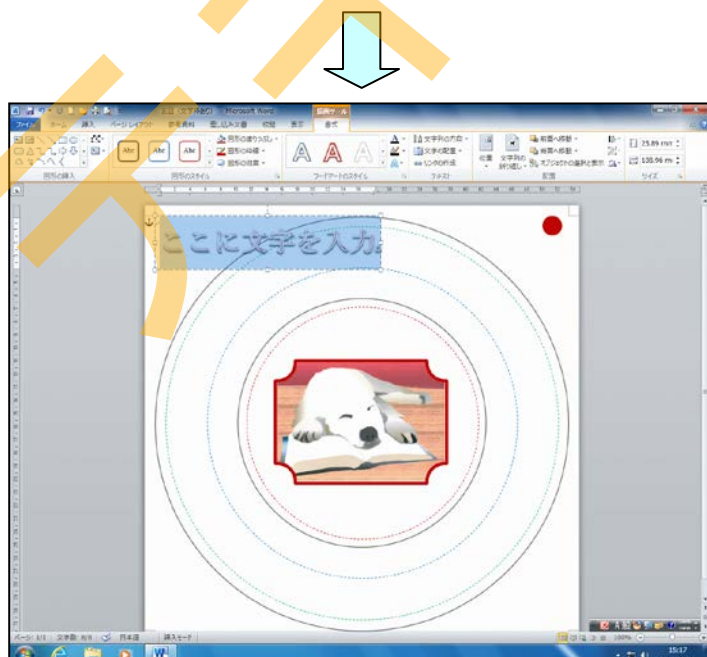
- **A** 【ワードアート】 ボタンをクリックすると、左のように【ワードアートギャラリー】が表示されます。

表示された【ワードアートギャラリー】の、「塗りつぶし-赤、アクセント 2、面取り（つや消し）」（左から3列目の上から6行目）にポイントし、クリックします。



- 挿入したいスタイルの【ワードアートギャラリー】にマウスポインターを合わせて少し待つと、下のようなメッセージが表示されます。（下の図は、左から3列目の上から6行目にポイントしたものです）

塗りつぶし- 赤、アクセント 2、面取り (つや消し)

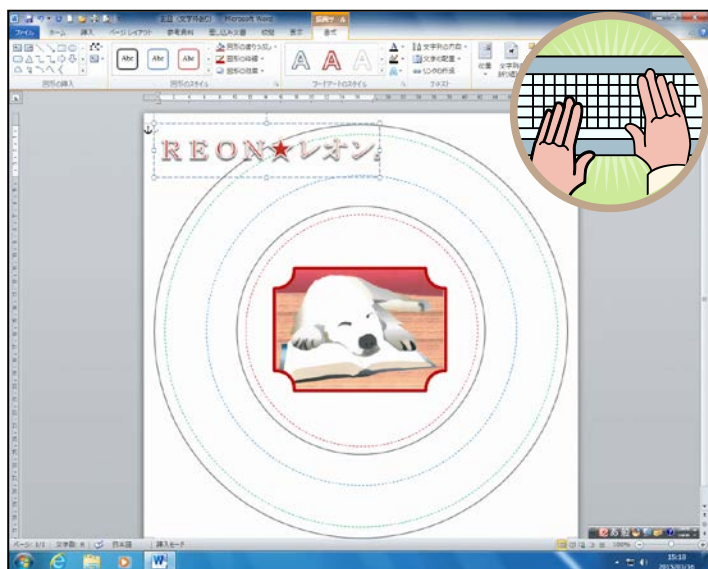


注意!

- 「塗りつぶし-赤、アクセント 2、面取り（つや消し）」をクリックすると、左のように文書内にワードアートが挿入され、「ここに文字を入力」が選択された状態になっています。この状態で最初の文字を入力すると、選択された文字は消えてなくなります。

次の操作で文字を入力するため、クリックして選択を解除しないように注意しましょう。

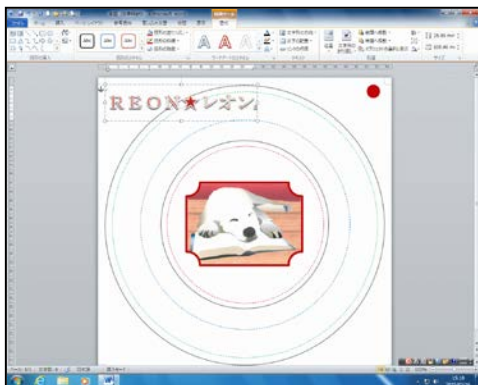
「REON★レオン」と入力します。



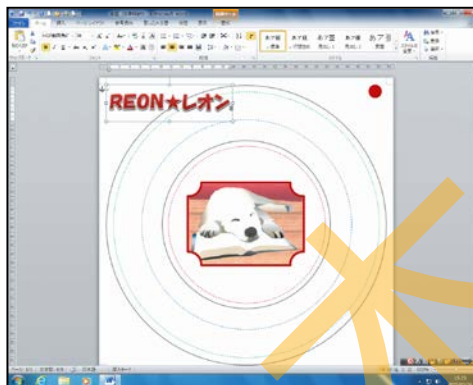
(2) ワードアートのフォントの変更

◆ワードアートのフォントの種類を変更する方法をマスターしましょう。

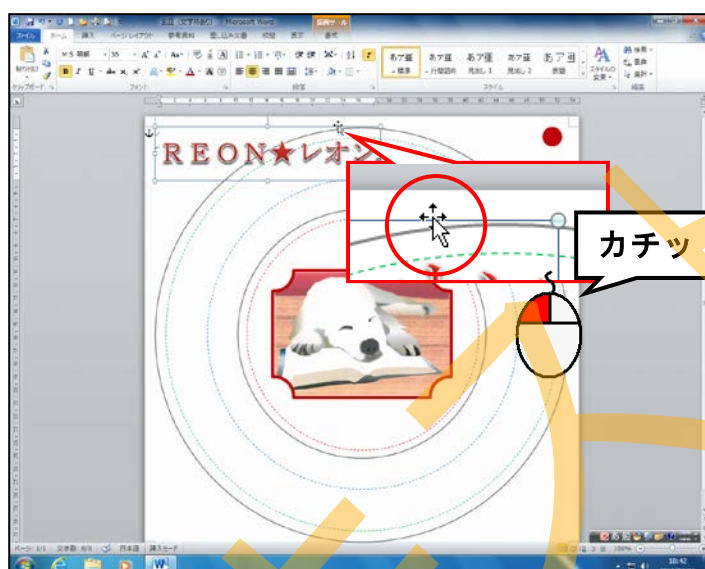
操作前



操作後



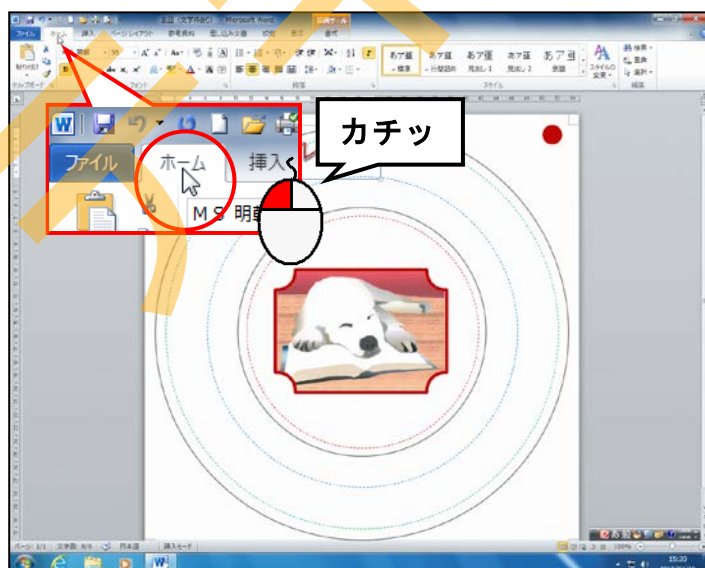
ワードアートの枠線にポイントし、クリックします。



●ワードアートの枠線にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。

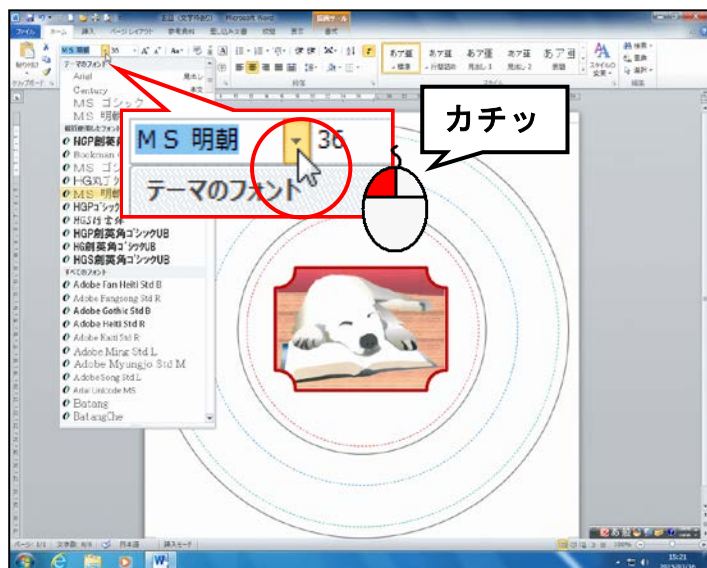
●ワードアートの枠線をクリックした時点で、点線の状態から直線の状態に変わります。

「ホーム」タブにポイントし、クリックします。

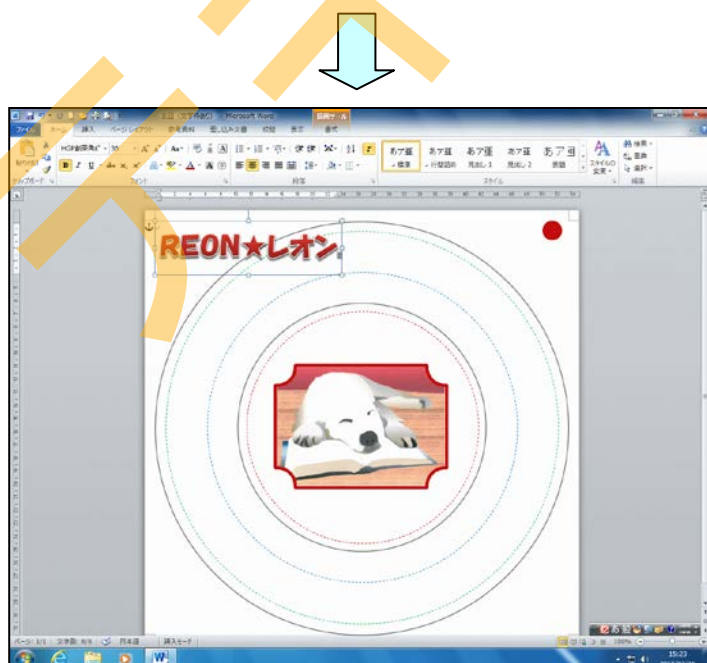
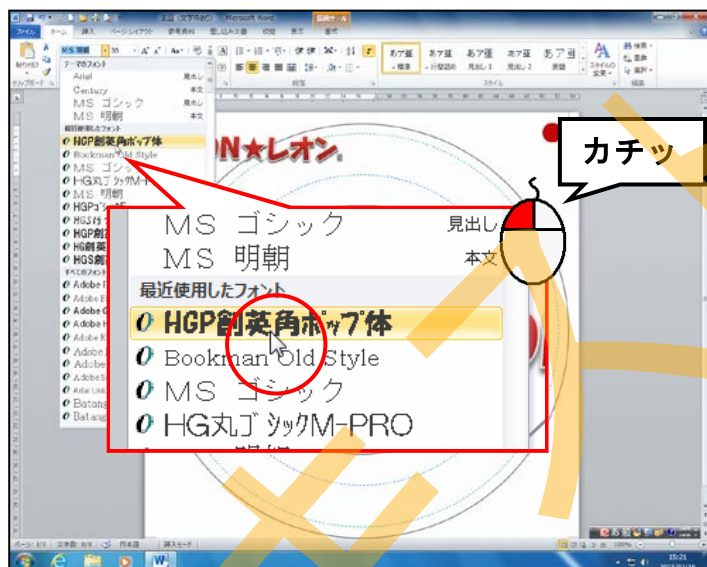


●「ホーム」タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

「フォント」グループ内にある MS 明朝 (本) 「フォント」ボックスの ▼ にポイントし、クリックします。



表示された一覧から「HGP 創英角ポップ体」にポイントし、クリックします。

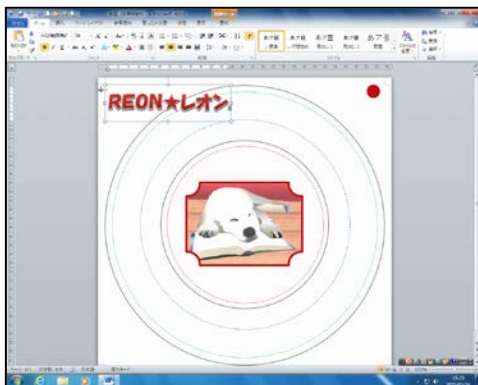


- 「HGP 創英角ポップ体」をクリックすると、左のようにフォントが変わります。

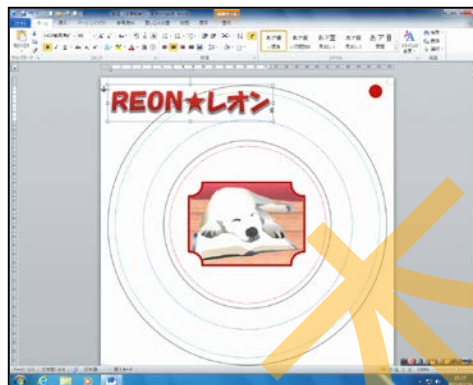
(3) ワードアートのフォントサイズの変更

◆ワードアートのフォントサイズを変更する方法をマスターしましょう。

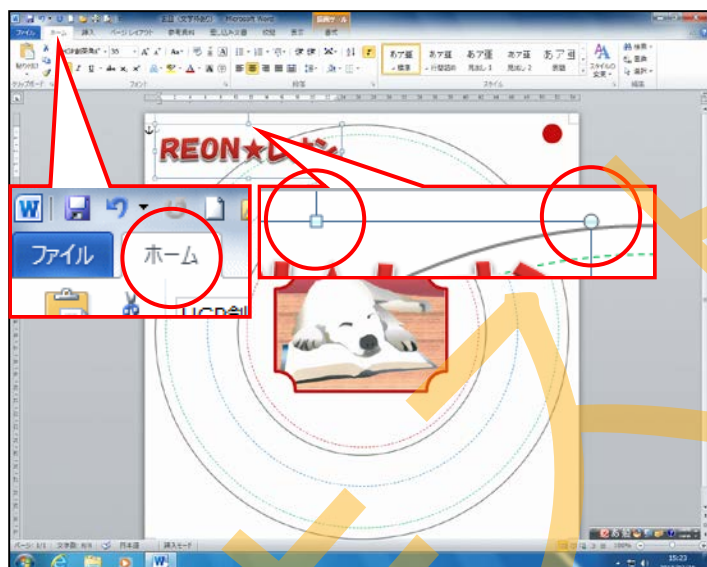
操作前



操作後

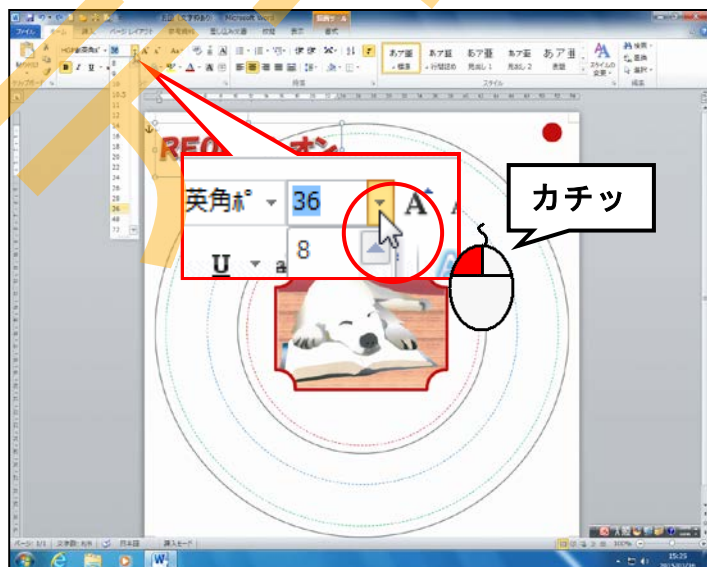


ワードアートが選択されていること、[ホーム] タブが選択されていることを確認します。

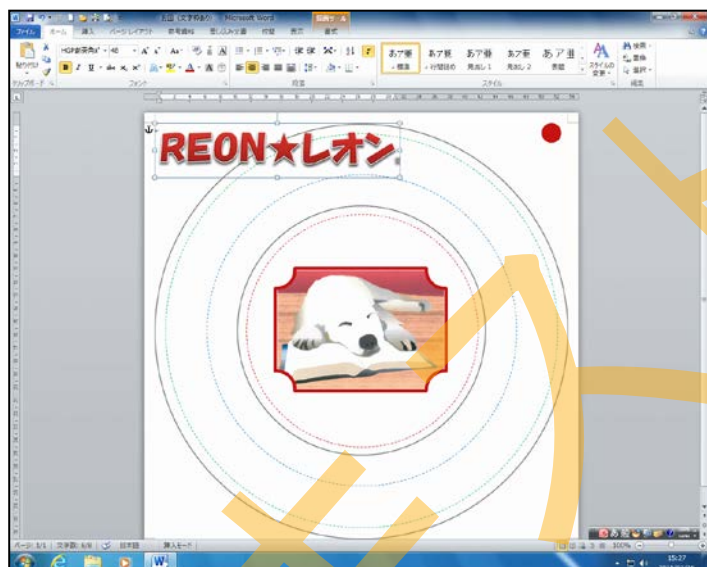
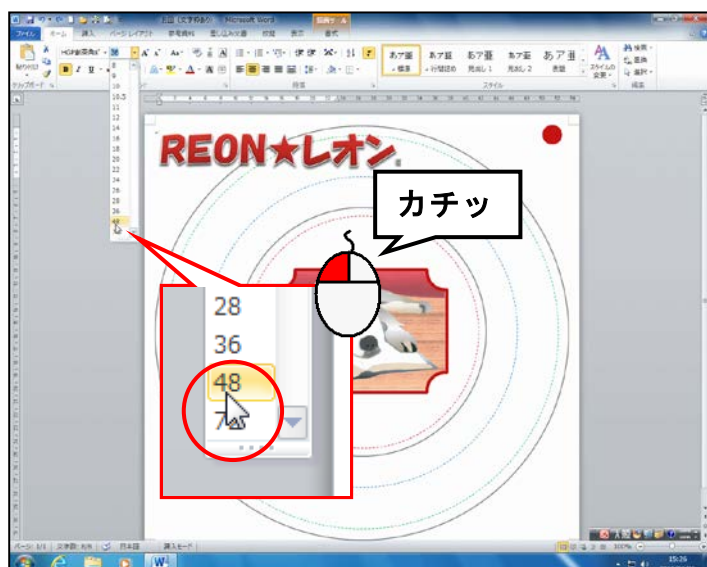


●挿入したワードアートの周りに  や  (サイズ調整ハンドル) が表示されていれば、ワードアートが選択されています。選択されていない方は、ワードアートにポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[フォント] グループ内にある 36 ▼ [フォントサイズ] ボックスの▼にポイントし、クリックします。



表示された一覧から「48pt」にポイントし、クリックします。

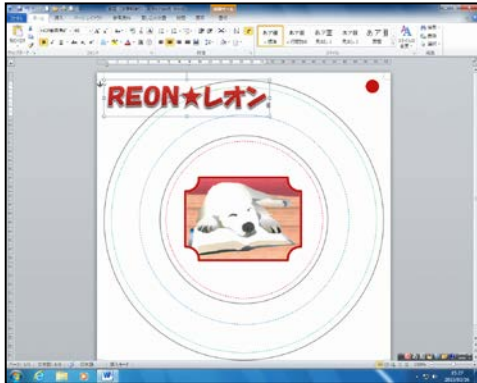


- 「48pt」をクリックすると、左のようにフォントサイズが変わります。

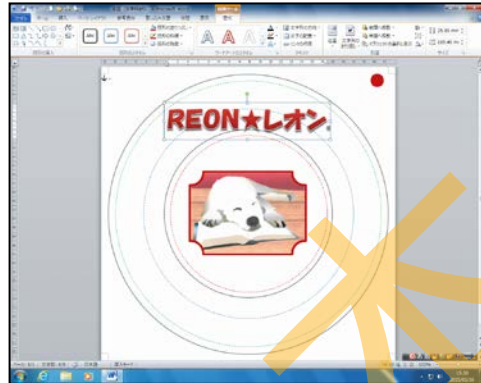
(4) ワードアートを移動する

◆ワードアートを移動する方法をマスターしましょう。

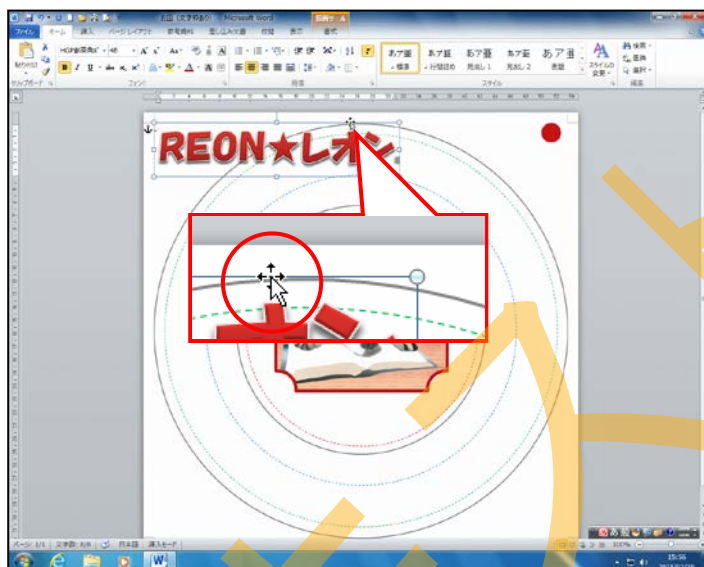
操作前



操作後

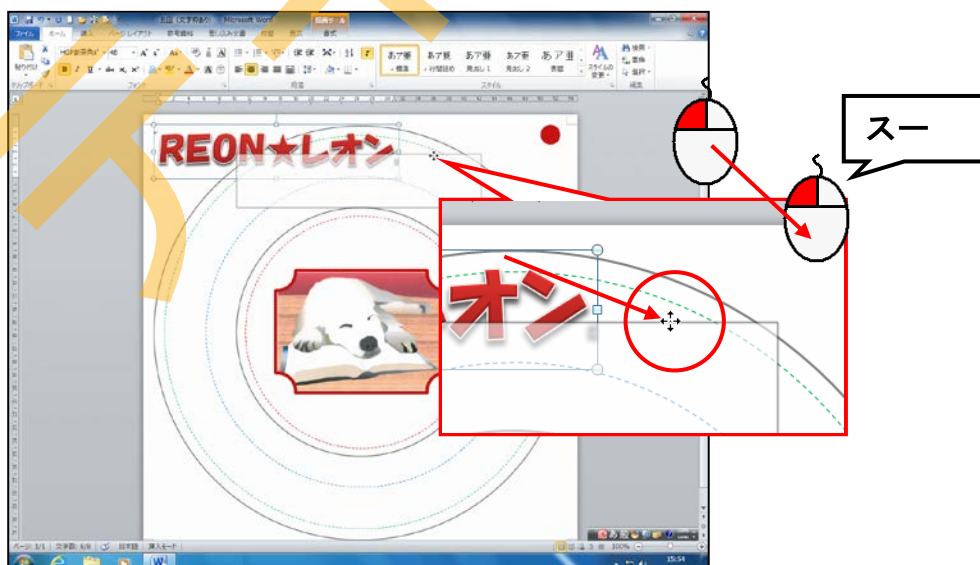


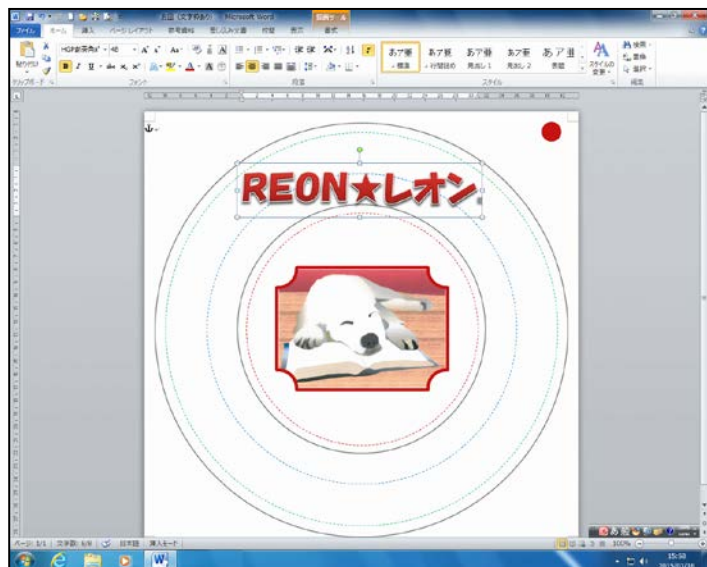
ワードアートの枠線にポイントします。



●ワードアートの枠線にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。

そのまま、右下に向かってドラッグします。





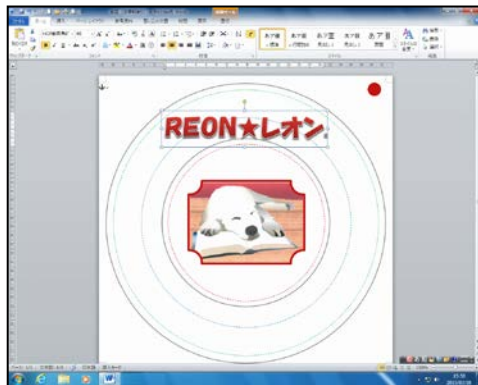
- マウスから手を離すと、ワードアートの位置が確定します。



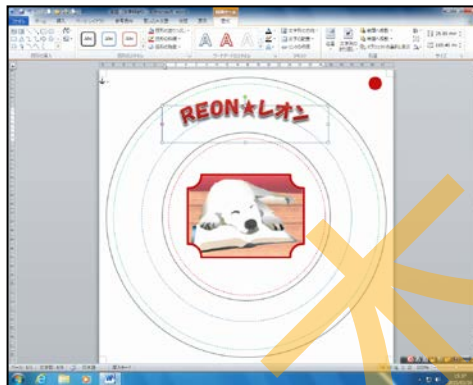
(5) ワードアートを変形する

◆ワードアートを変形する方法をマスターしましょう。

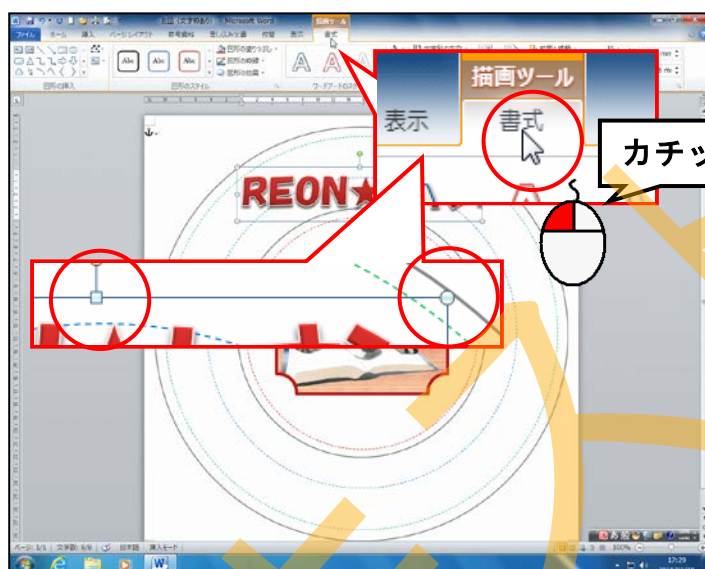
操作前



操作後

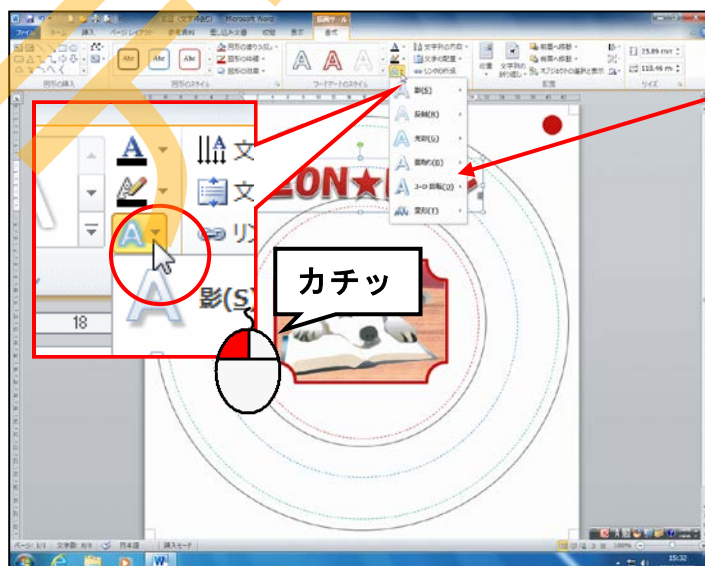


ワードアートが選択されていることを確認して、[書式] タブにポイントし、クリックします。



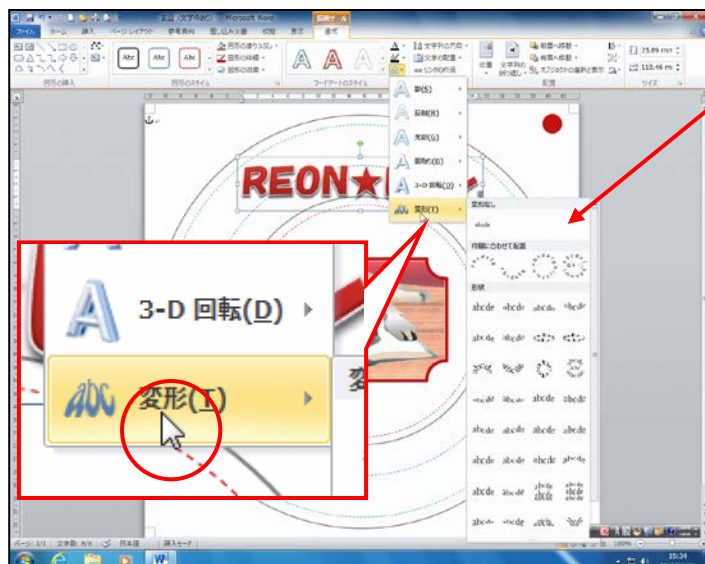
● 挿入したワードアートの周りに  や  (サイズ調整ハンドル) が表示されていれば、ワードアートが選択されています。選択されていない方は、ワードアートにポイントし、マウスポインターが  になったところで、クリックして選択しておきましょう。

[ワードアートスタイル] グループにある  [文字の効果] ボタンにポイントし、クリックします。



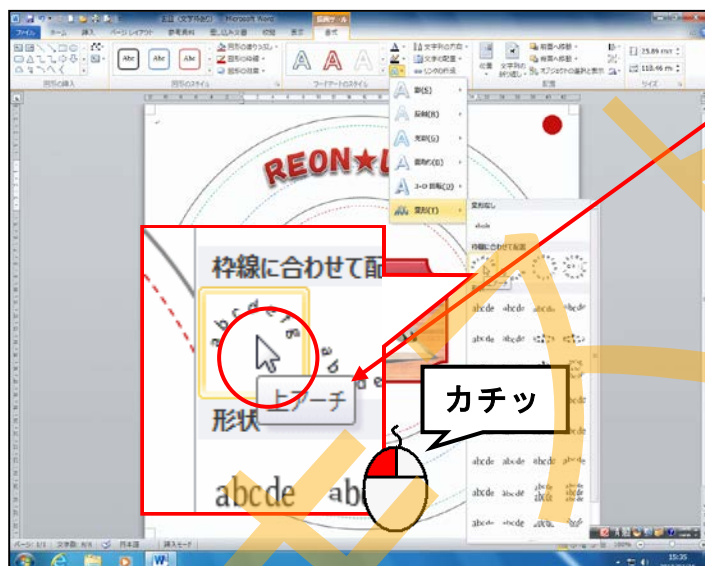
●  [文字の効果] ボタンをクリックすると、左のようにワードアートに設定できる効果の一覧が表示されます。

表示された一覧の中から「変形(T)」にポイントします。

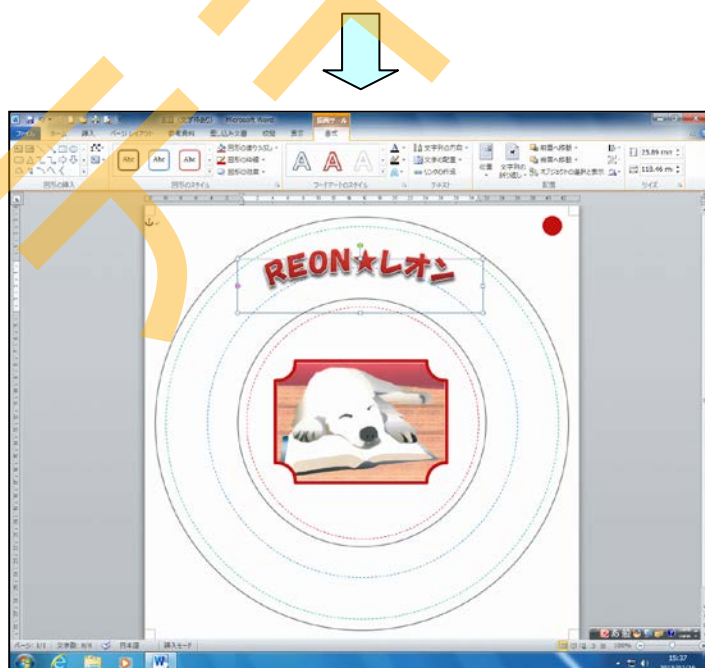


●「変形(T)」にポイントすると、左のように変形できる形状の一覧が表示されます。

表示された一覧の中から「枠線に合わせて配置」にある「上アーチ」にポイントし、クリックします。

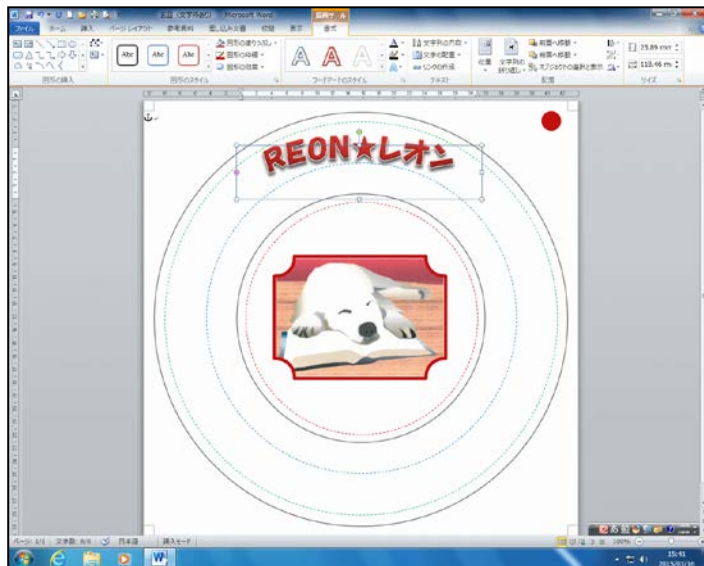


●目的の形状にポイントすると、左のように形状の名前がポップヒントとして表示されます。



●「上アーチ」をクリックすると、左のようにワードアートの形状が変更されます。

外側から2番目の枠（緑の点線と青の点線の間）に収まるよう、下図を参考に配置しましょう。

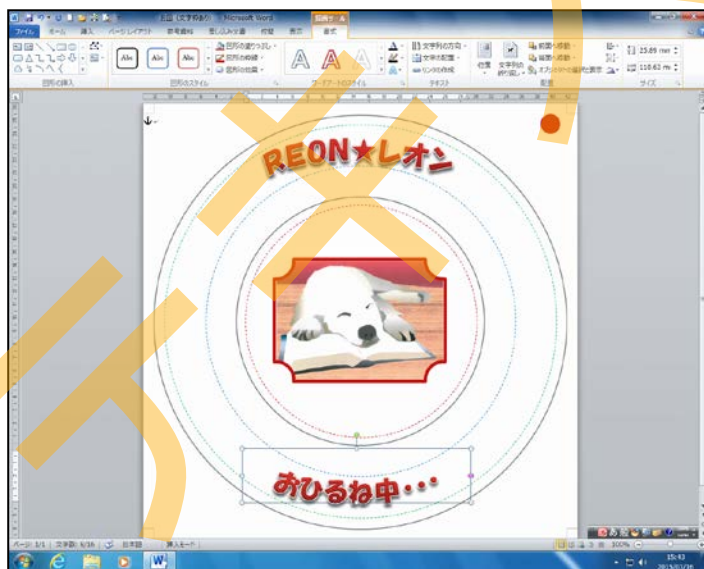


これまでの操作を繰り返し、もう一つワードアートを挿入しましょう。

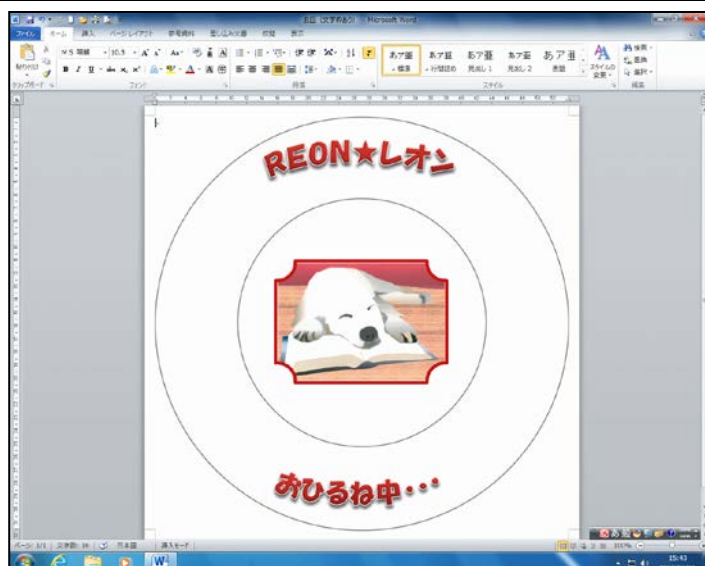
下の図を参考にワードアートを挿入します。

- 挿入箇所……………先頭にカーソルを移動して挿入してください
- ワードアートの種類……………「塗りつぶし-赤、アクセント2、面取り（つや消し）」
- 挿入文字……………「おひるね中・・・」
- フォント……………「HGP 創英角ポップ体」
- フォントサイズ……………「48pt」
- 変形……………「枠線に合わせて配置」にある「下アーチ」

※配置、下図を参考に変更してください。

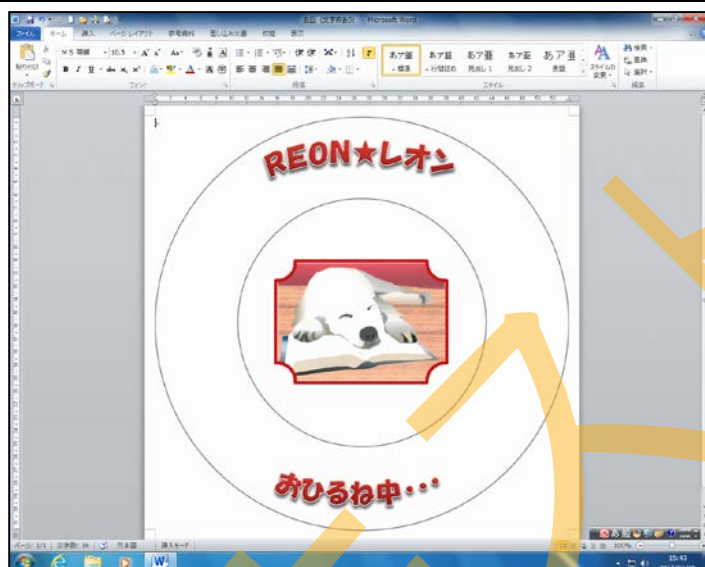


ガイドを削除しましょう。

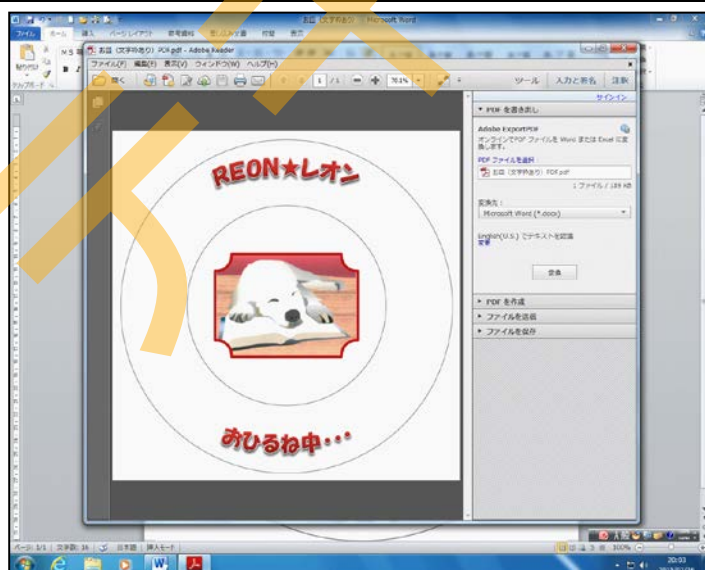


- ガイドの削除方法を忘れた方は、P22 4. ガイドを消すを参照しましょう。

画面左上の  [上書き保存] ボタンをクリックして、上書き保存しましょう。



リムーバブルディスクに「お皿（文字枠あり）PDF」という名前で PDF 形式で保存しましょう。



- PDF 形式で保存する方法を忘れた方は、P24 6. PDF 形式で保存するを参照しましょう。

ここまでくれば、すべての画面を閉じておきましょう。

今回はテキストどおりに作成していただいたのですが、皆さんも世界にひとつだけのお皿を作成しましょう。

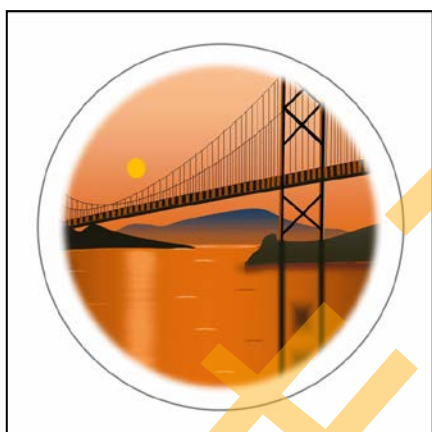


オリジナルのお皿が完成！！
いろいろ作ってお友達にもプレゼントしてみよう♪

わしも作ってみたいになった！
画像を変えていろんな種類を作ってみよう♪

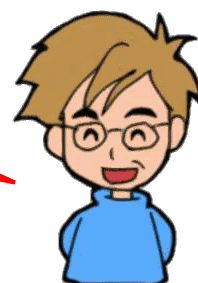


【完成例】



作成したデータをお預かりし、お皿に印刷してお渡しすることも可能です。

お皿の見本や注文に関しては、各教室スタッフまでお問い合わせください。



こだわりグッズをつくろう！ お皿編（2010）

2015年3月31日 初版 第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

ご連絡先